

別表1. 外国語学科英語科

必修・選択の別	授業科目	年間授業時数		授業時数 合計	単位数		
		第1学年	第2学年		第1学年	第2学年	合計
必修	ホスピタリティ入学研修	12	0	12	-	-	-
必修	入学オリエンテーション	12	0	12	-	-	-
必修	就職セミナー	8	0	8	-	-	-
必修	ショートホームルーム	60	60	120	-	-	-
必修	始業HR	0	4	4	-	-	-
必修	卒業式前HR	0	4	4	-	-	-
	小計	92	68	160	-	-	-
必修	業界英会話	60		60	4		4
必修	ホスピタリティ・SDGs研究	30		30	2		2
必修	キャリアガイダンス	60	30	90	4	2	6
必修	ビジネスプレゼンテーション	60		60	4		4
必修	ゼミナール		30	30		2	2
必修	実践PCスキル	60		60	4		4
必修	英語表現基礎	30		30	2		2
必修	Idioms & Voc. Build Up	30		30	2		2
必修	サービス演習 基礎 I	30		30	2		2
必修	サービス演習 基礎 II	30		30	2		2
必修	English Foundations	30		30	2		2
必修	English Practice	60		60	4		4
必修	Ideas & Opinions	60		60	4		4
必修	TOEIC Training	60		60	4		4
必修	English Speech Training	30		30	2		2
必修	サービス演習 応用 I	30		30	2		2
必修	サービス演習 応用 II	30		30	2		2
必修	Expression Training	30	60	90	2	4	6
必修	Conversation Strategies	30		30	2		2
必修	TOEIC Listening & Reading	60	30	90	4	2	6
必修	マナープロトコール	30		30	2		2
必修	イベントプランニング		60	60		4	4
必修	World News		30	30		2	2
必修	OMOTENASHI English		30	30		2	2
必修	Discussion & Debate Training		30	30		2	2
必修	Business English		60	60		4	4
必修	Team Building		30	30		2	2
必修	サービス演習 発展 I		30	30		2	2
必修	サービス演習 発展 II		30	30		2	2
必修	English Presentation Practice		30	30		2	2
必修	IT Skills		60	60		4	4
必修	サービス演習 発展 III		30	30		2	2
必修	サービス演習 発展 IV		30	30		2	2
必修	Job interview training		30	30		2	2
必修	Social Media Planning		30	30		2	2
必修	卒業制作		30	30		2	2
必修	Business Manners		30	30		2	2
必修	Japanese Culture		30	30		2	2
必修	English Guide Project		30	30		2	2
必修	World Geography		30	30		2	2
必修	Tour Project		30	30		2	2
専門科目(必修)授業時数&総単位数		840	840	1680	56	56	112
総授業時数&総単位数		932	908	1840	56	56	112

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			English Foundations			講師名		
担当講師の実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
英文法を基本から学び、それらの英文法を実際に自分で将来使えるようにたくさんの英文を用いて練習する。					テキストを中心に授業を行うが、適宜、補助プリントも使用する。 毎回小テストを行い習熟の度合いを計る。 毎回単語テストも行う。 色々な英語での表現を学び、実際に自分でも使えるまでにする。この授業で勉強した文法を様々な授業でも使用する。			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	オリエンテーション、5文型			英語5文型を理解する	講義			
2	Unit1-Unit9			be動詞、一般動詞の違いを理解する	講義			
3	Unit10-Unit15	小テ	10	過去形、過去進行形を理解し使えるようにする	講義			
4	Unit16-Unit19	小テ	10	過去完了形の概念を理解する	講義			
5	Unit19-Unit23	小テ	10	受動態を理解し、文中で使えるようにする	講義			
6	前半復習テスト	筆記	20	前半内容復習テスト実施	講義			
7	Unit24-Unit31			未来形、助動詞を理解する	講義			
8	Unit32-Unit36	小テ	10	助動詞を含む表現を学ぶ	講義			
9	Unit37-Unit44	小テ	10	色々な英語での表現を学び、実際に自分でも使えるようにする	講義			
10	Unit45-Unit50	小テ	10	色々な疑問文を理解し、使えるようにする	講義			
11	Unit51-Unit56			色々な英語での表現を学び、実際に自分でも使えるようにする	講義			
12	Unit57-Unit59			get、haveなどを用いた表現を理解し使えるようにする	講義			
13	後半復習テスト	筆記	20	後半内容復習テスト実施	講義			
14	前期で習った文法を使ってみよう			習った文法を使った文章作成に挑戦	講義			
15	総まとめ			まとめ	講義			
追試詳細				達成度評価		使用教材		
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		Basic Grammar in Use		

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			English Practice			講師名		
担当講師の実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
海外ドラマや映画の一部を用いて、同じ「英語」でも世界中に様々なアクセントやイントネーションがあることを学び、その違いを理解する。また、海外でも通用する発音やイントネーションを身に付ける。					映像を見て、世界中で使用されている様々な英語のアクセントや発音、イントネーションの違いを理解する。ネイティブ講師により、国際社会でもきちんと通じる発音力を養成する。			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標		授業形式		
		形式	点数					
1	オリエンテーション			授業の進め方・説明 世界における英語		講義		
2	「教科書英語」とも言われるアメリカ英語	小テスト	10	アメリカ英語を聞き取ることができる		講義		
3	カナダ英語	小テスト	10	アメリカ英語との違いを見つける		講義		
4	イギリス英語	小テスト	10	アメリカ英語との違いを見つける		講義		
5	オーストラリア英語 ニュージーランド英語	小テスト	10	イギリス英語との類似点を探す		講義		
6	南アフリカ英語	小テスト	10	南アフリカ英語の発音を知る		講義		
7	インド英語	小テスト	10	ハリウッド映画を参考に、インド英語について知る		講義		
8	アジアで公用語として話される英語：シンガポール英語	小テスト	10	アジアでありながら公用語が英語であること、発音を知る		講義		
9	アジアで話される英語：フィリピン英語	小テスト	10	留学先としても近年人気のフィリピン英語を知る		講義		
10	第二言語としての英語：フランス			フランス人に多く見られる英語の発音を知る		講義		
11	第二言語としての英語：イタリア			イタリア人に多く見られる英語の発音を知る		講義		
12	第二言語としての英語：スペイン			スペイン人に多く見られる英語の発音を知る		講義		
13	アメリカ英語を発音する（1）			海外ドラマや映画を参考にワンフレーズ自然な発音で言えるよう練習する		実技		
14	アメリカ英語を発音する（2）	実技	20	練習したフレーズを発表する		実技		
15	まとめ・振り返り			前期授業のまとめ		講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			Ideas & Opinions			講師名		
担当講師の実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>自分の考えや思いを持つことから始める。それらを発見し、自分でまとめる力をつける。後期に向けて、自分の意見を持ち伝える基礎を学ぶ。</p>					<p>国内ニュース（NHK）や海外ニュース（CNNやBBC）、新聞（Japan TimesやNY Times）などを参考に、まずは自分の意見を持つこと。何を見て何を思うのかを大切に。自分の言葉で表現できるように意見を発見する。</p>			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション				クラスルール、教材の説明			
2	自分の考え、意見を持つ				日本と海外の意見の伝え方の違い			
3	音楽について		課題	10	日本を含む音楽についてのアイデア			
4	文化について		課題	10	日本人と海外の人の文化の違いについて思うこと			
5	アートについて		課題	10	古典アートや現代アート、先住民族のアートなどについて考える			
6	復習、まとめ1		課題	15	自分の意見をまとめる			
7	食生活について		課題	10	食生活の違いなどについて考える			
8	環境について		課題	10	世界の自然環境について考える			
9	教育について		課題	10	日本と海外の勉強の仕方とは			
10	復習、まとめ2		課題	15	自分の意見をまとめる			
11	新聞から考える①				日本の新聞から考えを持つ			
12	新聞から考える②				日本の新聞から考えを持つ			
13	自分の新聞を作成する		課題	10	自分の考えを新聞のようにまとめ作成する			
14	復習、まとめ3				自分の意見をまとめる			
15	総まとめ				振り返り			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		NHK、CNN、BBC、新聞など	

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			Idioms & Voc. Build Up			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<p>前期で、日常生活に必要な単語や様々な日常表現の仕方を理解し、自分の言葉で相手に伝えることができるようになる。 CEFRのA1～A2を目指す</p>					<p>授業形態：講義、ペアワーク</p> <p>自分のことや身近なことの英単語を学び使えるようになる。 ペアワークを中心に、学んだものを実践的に使っていくようにする。</p>				
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標			授業形式		
		形式	点数						
1	オリエンテーション・目標設定			新しい単語や表現を知ろう			講義		
2	自己紹介①			自分のことが表現できるようになる			講義		
3	自己紹介②	課題	10	自分のことを相手に紹介する			講義		
4	日常生活①			基本的な日常生活の言葉を理解する			講義		
5	日常生活②			日常生活の様々な表現を習得する			講義		
6	実技試験	実技	30	実技試験			講義		
7	交通手段・案内			移動手段に必要な表現を学ぶ			講義		
8	場所について①			自分の街を紹介できるようになる			講義		
9	場所について②			家の中での様々な場所を表す			講義		
10	実技試験	実技	30	実技試験			講義		
11	勉強や仕事			勉強や仕事に対する理解をし表現する			講義		
12	興味関心のあること①			自分の好きなことや関心のあることを見つけよう			講義		
13	興味関心のあること②			自分の好きなことや関心のあることを言葉にしよう			講義		
14	実技試験	実技	30	実技試験			講義		
15	総復習			総まとめ			講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		Oxford Word Skills		

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			TOEIC Listening&Reading			講師名		
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
TOEIC Reading Part 5の問題攻略の要となる英文法を基礎から学び、英語力の向上を目指す。					Part5を解くのに必要な英文法の基礎を学び、練習問題を重ねる。攻略方法を身に着け、問題演習を繰り返して解答時間の短縮につなげる。			
実施回数	学習項目	授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標	授業形式			
1	オリエンテーション			TOEICについて知る	講義			
2	Listening~Part 1~	筆記	5	写真問題を知る（一人、二人、三人の人物写真）	講義			
3	Listening~Part 1~	筆記	5	風景と乗り物の写真	講義			
4	Listening~Part 2~	筆記	5	キーワードを避けるWh-How疑問文	講義			
5	Listening~Part 2~	筆記	5	提案・依頼・申し出の表現	講義			
6	Listening~Part 2~	筆記	15	Yes / No 疑問文 OR選択疑問文	講義			
7	Listening~Part 3~	筆記	5	設問の先読み、森問題	講義			
8	Listening~Part 3~	筆記	5	大まかな背景情報、設問の主語の発音	講義			
9	Reading~Part5~	筆記	5	品詞問題 名詞・副詞・形容詞の働きと位置を押さえる	講義			
10	Reading~Part5~	筆記	5	動詞問題 受動態・能動態の理解	講義			
11	Reading~Part5~	筆記	5	動詞問題 不定詞・動名詞の意味と、置かれる場所を押さえる	講義			
12	Reading~Part6~	筆記	5	接続詞問題	講義			
13	Reading~Part6~	筆記	5	転換語問題	講義			
14	筆記試験	筆記	30	前期まとめ筆記試験	講義			
15	総まとめ・復習			まとめ	講義			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
【追試について】 翌週の授業までに実施 【評価配点】 ・小テスト 計11回実施、合計55点 ・中間/期末テスト 計2回実施、合計45点 合計100点で評価					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		・「ゼロからはじめる新TOEICテスト英文法」に基づく講師作成資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			TOEIC Training			講師名		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
各学生ごとに学びたい内容をフォルダから選び、各自レベルアップを行う。指定の単語帳を使用し、TOEICスコアアップの基礎となる単語力アップを図る。					<ul style="list-style-type: none"> ・各学生自身のペースで学習を進め、TOEICスコアアップを目的とする寺子屋スタイルの授業。 ・Google Drive上の週ごとに設定された課題のリスニングパートの読解に取り組む。 ・語彙力強化のため、週ごとに指定の単語帳から単語テストを実施し英単語の定着を図る。 ・各自イヤフォンとポータフォリオを毎週持参すること。 			
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標		授業形式
1	オリエンテーション（英語学習について） ポータフォリオ・Google Drive使用方法説明 Week1教材（Part1.2.3.4）					シラバス説明 学習方法の理解、語彙力向上		講義
2	単語テスト TOEICの解き方の極意 Week2教材（Part1.2.3.4）			筆記	10	TOEICの解き方のコツを学ぶ シャドーイングの効果について理解し実践する 語彙力向上、リスニング力向上		講義
3	単語テスト TOEICの解き方の極意 Week3教材（Part1.2.3.4）			筆記	10	TOEICの解き方のコツを学ぶ 語彙力向上、リスニング力向上		講義
4	単語テスト Week4教材（Part1.2.3.4）			筆記	10	語彙力向上、リスニング力向上		講義
5	単語テスト Week5教材（Part1.2.3.4）			筆記	10	語彙力向上、リスニング力向上		講義
6	授業内テスト Week6教材（Part1.2.3.4）			筆記	10	語彙力向上、リスニング力向上		講義
7	単語テスト Week7教材（Part1.2.3.4）			筆記	20	語彙力向上、リスニング力向上		講義
8	単語テスト Week8教材（Part1.2.3.4）			筆記	5	語彙力向上、リスニング力向上		講義
9	単語テスト Week9教材（Part1.2.3.4）			筆記	5	語彙力向上、リスニング力向上		講義
10	単語テスト（評価に含まず） Week10教材（Part1.2.3.4）					語彙力向上、リスニング力向上		講義
11	授業内テスト Week11教材（Part1.2.3.4）			筆記	20	語彙力向上、リスニング力向上		講義
12	Week12教材（Part1.2.3.4）					語彙力向上、リスニング力向上		講義
13	Week13教材（Part1.2.3.4）					語彙力向上、リスニング力向上		講義
14	Feedback TOEIC 解き方のコツ復習					まとめ TOEIC解き方のコツを実践する		講義
15	総復習					弱点強化		講義
追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>◎「追試届」を提出・確認した場合のみ追試、母数減らしの対象とする</p> <p>【評価配点】合計100点 筆記10点/5点：Vocabulary Test 合計60点 筆記20点：中間テスト・まとめテスト 合計40点 （追試：追試必要書類を講師に提示後実施可能日を伝えること。原則1週間以内に実施のこと）</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・東西共有資料 (Portpholio) ・TOEIC L&R OFFICIAL VOCABULARY BOOK ・教員作成オリジナル資料 	

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			キャリアガイダンス			講師名		
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. ビジスマナー・就活の基本を学ぶ 2. ビジネス能力検定ジョブパス3級合格を目指す(申込不要) 3. ホスピタリティを土台とし、マナーをわきまえた社会人の言動をとれるようになる 【2級受験希望者は学生カウンターへ要申請】					就職活動でも必要となる、ビジスマナーとコミュニケーション、仕事の進め方やビジネス文書、電話対応などを学びながら、同時に検定合格を目指す。 授業では、テキストと問題集を併用し、知識の習得や過去、模擬問題に取り組み、家庭学習も必要となる。			
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標		授業形式
1	第1編、1、2章 キャリア、働く意識、8つの意識					<input type="checkbox"/> キャリアを知り、働く意義を考える <input type="checkbox"/> 仕事の基本となる8つの意識を身につける		
2	第1編、3、4章 コミュニケーション、ほうれんそう			筆記	5	<input type="checkbox"/> コミュニケーションとビジスマナーの基本について理解する <input type="checkbox"/> 「ほうれんそう」の重要性を再認識する		
3	第1編 5章 話し方、聞き方 敬語			筆記	5	<input type="checkbox"/> 敬語、話し方と聞き方のポイントを理解し、「学生ことば」を卒業する		
4	第1編 6,7章 来客対応、訪問、対外交際			筆記	5	<input type="checkbox"/> 来客対応と訪問の基本マナーを身につける <input type="checkbox"/> 会社関係でのつき合いを知る		
5	中間テスト 第2編 1章 仕事への取り組み方			筆記	30	<input type="checkbox"/> 仕事への取り組み方について理解する		
6	前半振り返り					フィードバック		
7	第2編 2章 ビジネス文書・メール 配布資料 添え状とは			筆記	5	<input type="checkbox"/> ビジネス文書の基本を身につける <input type="checkbox"/> 添え状が書けるようになる		
8	第2編 3章 電話対応 配布資料 就活に於ける電話対応			筆記	5	<input type="checkbox"/> 基本的な電話対応ができるようになる <input type="checkbox"/> ケーススタディで電話対応を身につける		
9	第2編 4、5章 データの読み方、情報収集			筆記	5	<input type="checkbox"/> メディアの活用した情報収集ができる		
10	第2編 6章 経済史、社会の環境			筆記	5	<input type="checkbox"/> 取り巻く環境と経済の基本について理解する		
11	期末テスト・検定直前対策			筆記	30	<input type="checkbox"/> ジョブパスの特徴を捉え、出題形式に慣れる		
12	後半振り返り					フィードバック		
13	業界が求める人物像 自己理解「ジョハリの窓」			課題	5	<input type="checkbox"/> 業界が求める人物像を具体化する <input type="checkbox"/> 「ジョハリの窓」から自己理解の気づきを得る		
14	未来計画書作成					<input type="checkbox"/> 成し遂げたい項目3点を掲げる <input type="checkbox"/> 達成のためのアクションプランを完成させる		
15	振り返り					まとめ		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
【評価方法】 筆記 小テスト 5点×7回 筆記 中間テスト 30点 筆記 期末テスト 30点 課題 5点 【追試】 筆記 授業内にて実施（実施日は担当講師に確認） 課題 母数減らしにて対応					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		B検ジョブパス ビジネス能力検定3級 ・公式テキスト ・公式問題集 ・配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス			
総時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			サービス演習 基礎 I			講師名			
担当講師の実務経歴		○		実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
観光業界への就職を目指し、接客の基本となるサービスやマナーの基礎を学ぶ。 日本のおもてなし文化を理解し、身につける。					様々な業界出身講師による指導のもと、座学と実技を交えてサービスの基礎やマナーについて日本語で接客のフロから学ぶ。				
実施回数	学習項目	授業内テスト形式	点数	各回の到達目標	授業形式				
1	オリエンテーション				講義				
2	日本の観光業界での仕事	課題	10	日本の接客・サービス業界で求められるスキルを身につける	講義				
3	日本の接客・サービスの基本①			挨拶の重要性・相応しい身だしなみを知る	講義				
4	日本の接客・サービスの基本②			接客に相応しい言葉遣いを学ぶ	講義				
5	日本の接客・サービスの基本③	筆記	25	接客業のマインド、心構えなどを学ぶ	講義				
6	日本の接客・サービス業界の仕事①			日本人の接客業界に求めるものを基礎から学ぶ	講義				
7	日本の接客・サービス業界の仕事②			日本の特別な「おもてなし」とはの基礎を知る	講義				
8	日本の接客・サービス業界の仕事③	課題	15	日本のサービス業界での接客・販売方法の基本を知る	講義				
9	日本の接客・サービス業界の仕事④			接客や販売のお客様心理を基礎から学ぶ	講義				
10	日本の接客・サービス業界の仕事⑤			サービス業界でのおもてなし実務の基本を学ぶ①	実技				
11	日本の接客・サービス業界の仕事⑥	筆記	25	サービス業界でのおもてなし実務の基本を学ぶ②	実技				
12	日本の接客・サービス業界の仕事⑦			接客方法や販売方法を基礎実務から身につける①	実技				
13	日本の接客・サービス業界の仕事⑧			接客方法や販売方法を基礎実務から身につける②	実技				
14	日本の接客・サービス業界の仕事⑨	筆記	25	観光業界で必要な会話力、マナーの基本を習得する	実技				
15	接客・サービス業界の仕事まとめ			観光業界の仕事まとめ	講義				
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス				
総時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修		
科目名			サービス演習 基礎Ⅱ			講師名				
担当講師の実務経験		○		実務経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
観光業界への就職を目指し、接客の基本となるサービスやマナーの基礎を学ぶ。 海外のHospitalityを理解し、身につける。					様々な業界出身講師による指導のもと、座学と実技を交えてサービスの基礎やマナーについて英語でネイティブの接客のプロから外国人への接客方法を学ぶ。					
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式					
		形式	点数							
1	オリエンテーション				講義					
2	海外の観光業界での仕事	課題	10	接客・サービス業界で求められる外国人観光客に対する接客スキルを身につける	講義					
3	海外の接客・サービスの基本①			「Hospitality」とはを学ぶ	講義					
4	海外の接客・サービスの基本②			海外の観光業界に必要な知識を得る①	講義					
5	海外の接客・サービスの基本③	筆記	25	海外の観光業界に必要な知識を得る②	講義					
6	海外の接客・サービス業界の仕事①			Hospitalityを実務で学ぶ	実技					
7	海外の接客・サービス業界の仕事②			外国からのお客様へのアプローチの仕方を学ぶ①	実技					
8	海外の接客・サービス業界の仕事③	課題	15	外国からのお客様へのアプローチの仕方を学ぶ②	実技					
9	海外の接客・サービス業界の仕事④			海外の接客・サービス業界でのマナーを学ぶ	実技					
10	海外の接客・サービス業界の仕事⑤			外国人に対しての接客・販売方法を身につける①	実技					
11	海外の接客・サービス業界の仕事⑥	筆記	25	外国人に対しての接客・販売方法を身につける②	実技					
12	海外の接客・サービス業界の仕事⑦			海外での「OMOTENASHI」を習得①	実技					
13	海外の接客・サービス業界の仕事⑧			海外での「OMOTENASHI」を習得②	実技					
14	海外の接客・サービス業界の仕事⑨	筆記	25	海外での接客マナー、技術の復習	実技					
15	接客・サービス業界の仕事まとめ			海外の観光業界の知識・技術のまとめ	講義					
追試詳細					達成度評価		使用教材			
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下					

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			ビジネスプレゼンテーション			講師名		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>社会人として働く時、自分の考えを決裁者に対して理解しやすく納得できるように提案するための段取りや組み立て方を理解し、言語情報・音声情報・視覚情報として伝えることや簡潔明瞭に伝えるスキルを養う。学生自身が好きなこと・得意なことを見つけて、全員がリーダーとなり夢や目標を達成させ、成功体験を語ることができるようになる。</p>					<p>講義をした後、ワークショップ（参加者個々が考え、お互い協力し合い、与えられたテーマを元に行う体験型授業）や実技（発表）を繰り返すことで、基礎のプレゼンテーション知識の体得を目指す。</p>			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標		授業形式	
			形式	点数				
1	オリエンテーション（BTSとは）チームビルディング（アイスブレイク）		課題	10	一年間の流れ、BTSの説明、ワークショップを実施しクラスの雰囲気高める		講義	
2	自己紹介		実技	20	自己紹介をしながらワークショップを行いコミュニケーションの取りやすい環境を作る		実技	
3	チームビルディング（組織強化的、コンセンサス合意）				議論のまとめ方を学び、組織強化、コンセンサス合意を目的としたチームビルディングを行う		講義	
4	プレゼンテーションの基本構造、企画の基本構造		課題	10	プレゼンの基本であるPREP構造、企画の基本構造をヒット商品に学ぶ		講義	
5	アイデアの発想法				アイデアを発想する方法（フレーム）をいくつか紹介し、発想のトレーニングを行う		講義	
6	プレゼンテーションテクニック①（課題の見つけ方）				テーマを示し、情報収集→課題発見→課題解決のワークショップを行う		講義	
7	プレゼンテーションテクニック②（アイデア→企画書）		課題	10	課題解決のためのフレームワークを使って企画書の作成を行う		講義	
8	プレゼンテーションテクニック③（発表、フィードバック）		実技	20	発表とフィードバック		実技	
9	BTS概要説明				BTS全体テーマ発表→「業界を“オシャレ”に」（業界の課題解決の提案）		講義	
10	マーケティング基礎				情報収集の仕方、環境分析、ターゲットニング、AIDMAを実例を交えてマーケティングの基礎を学ぶ		講義	
11	BTS企画構想ワークショップ（個人→チーム）		実技	20	BTSの提案を個人で考えさせ、共有し、カテゴリー別にチーム編成する		講義	
12	BTS企画構想（チーム）				BTSのチームテーマ決定する ※夏休み期間に何をするか、役割分担		講義	
13	//				BTSのチームテーマ決定する ※夏休み期間に何をするか、役割分担		実技	
14	//		課題	10	BTSのチームテーマ決定する ※夏休み期間に何をするか、役割分担		実技	
15	まとめ				行程表作成時の注意点を理解する		実技	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>10点課題・・・母数減らし 2回目・12回目 20点実技・・・次回授業までに実施 8回目・・・チーム点加算</p> <p>いずれの追試も下記<追試の流れ>に従うこと。</p>					<p>A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下</p>			

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		ホスピタリティ・SDGs研究				講師名		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
相手の立場に立って考え行動するホスピタリティマインドを理解し、行動に移せるようになることを目標とする。個人間のホスピタリティを理解したあとで、企業が行うホスピタリティの行動としてSDGsの事例を学び、地球規模でホスピタリティの具現化について考察を深める。					「ホスピタリティマインド」「SDGs」という2つのテーマについて、講師がファシリテーターとなり、学生自らが気づきを得るためのワークショップ形式の授業を展開する。			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション ホスピタリティマインドとは何かを考える				<input type="checkbox"/> 響存関係づくりからホスピタリティを理解した	講義		
2	「これってホスピタリティ？」 事例から考えるホスピタリティ				<input type="checkbox"/> 事例から様々な考え方や行動があることに気付いた	講義		
3	私のホスピタリティ体験				<input type="checkbox"/> 実体験から、自分のホスピタリティや他者から受けたホスピタリティに気付いた	講義		
4	ホスピタリティに必要な力 ①感知力・想像力、SDGsの基礎を学ぶ		課題	30	<input type="checkbox"/> 業界事例から感知力・想像力を理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
5	ホスピタリティに必要な力 ②マインド、SDGsの基礎を学ぶ				<input type="checkbox"/> 業界事例から感知力・想像力を理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
6	1週間のホスピタリティ共有		課題	20	<input type="checkbox"/> 各自の発表から気づきを得た <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
7	ホスピタリティに必要な力 ③マナー、SDGsの基礎を学ぶ				<input type="checkbox"/> 業界事例からマナーの必要性を理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
8	ホスピタリティに必要な力 ③マナー、SDGsの基礎を学ぶ				<input type="checkbox"/> 業界事例からマナーの必要性を理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
9	ホスピタリティに必要な力 ④コミュニケーション、SDGsの基礎を学ぶ		課題	20	<input type="checkbox"/> 業界事例からコミュニケーションカを理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
10	ホスピタリティに必要な力 ④コミュニケーション、SDGsの基礎を学ぶ				<input type="checkbox"/> 業界事例からコミュニケーションカを理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
11	「私のホスピタリティ」(クレド)作成				<input type="checkbox"/> 自身の今後の行動目標を作成し、ホスピタリティ意識を高めた	講義		
12	「自身の考えるホスピタリティについて」				<input type="checkbox"/> これまでの学びや気づきをもとにホスピタリティについて考えることが出来た	講義		
13	「自身の考えるホスピタリティについて」				<input type="checkbox"/> これまでの学びや気づきをもとにホスピタリティについて考えることが出来た	講義		
14	「自身の考えるホスピタリティについて」		課題	30	<input type="checkbox"/> これまでの学びや気づきをもとにホスピタリティについて考えることが出来た	講義		
15	総復習 フィードバック				<input type="checkbox"/> ホスピタリティについて考える機会が増えた	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			英語表現基礎			講師名		
担当講師の実務経歴		○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
英語表現の基礎として、2つの基本的なスキルを身につける（Speaking & Writing） 洋画や洋書から、様々な場面の表現を読み取り、習得する コミュニケーションの基本の部分が相手に伝えられるようになる。					授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ・毎週の出来事を日記として残す ・洋画や洋書を見たり読んだりすることに慣れる ・身の回りのことから話す努力、文章で表す努力をする ・ペアワークを通して表現力を磨く 			
実施回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式	
1	オリエンテーション、目標設定				日本と英語の表現の違い		講義	
2	コミュニケーションとは				コミュニケーションの取り方を学ぶ		講義	
3	コミュニケーションゲーム		実技	10	簡単なゲームから実践し、表現することを楽しむ		実技	
4	オープンマインドを学ぶ				羞恥心をなくし、自分をさらけ出す		講義	
5	非言語表現について				表情や簡単なジェスチャーで感情を表す		講義	
6	海外の表現を動画から学ぶ		課題	10	リスニングを基本とし、シャドーイングで反復練習		講義	
7	海外の表現を洋書から学ぶ		課題	10	書かれている内容を理解し実際の表現の中に入れる		講義	
8	絵本、紙芝居から学ぶ表現		課題	10	自分の好きな絵本や紙芝居を選ぶ		講義	
9	絵本、紙芝居から学ぶ表現				登場人物になりきる、練習		実技	
10	絵本、紙芝居から学ぶ表現		実技	20	絵本、紙芝居の読み聞かせを実践		実技	
11	相手に伝わる手紙の書き方				「書く」という表現方法を知る		講義	
12	手紙を書いてみよう		課題	20	感情を文字におこす		講義	
13	自己理解・他己理解				自分のことを知り、相手のことを知る		講義	
14	自己紹介・他己紹介		実技	20	相手に自分のこと、相手のことを言葉で伝える		実技	
15	総まとめ				振り返り		講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			業界英会話			講師名		
担当講師の実務経歴		○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・日本を訪れる外国人旅行客の接客を想定し、主にサービス業界で役に立つ英語を基礎から学ぶ。 ・毎授業内でオンライン英会話を必須受講とし、リスニング力とスピーキング力を身に付ける。 					接客英語を基礎から学習し、学期末には旅行客をおもてなしする様々な場面を想定したロールプレイを実技試験として実施する。			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション				授業内容の説明・イントロダクション			
2	「おもてなし」とは				日本が世界に誇るおもてなし文化について学ぶ			
3	業種共通フレーズ(1)		単語	5	来店したお客様を迎えるよく使うフレーズ			
4	業種共通フレーズ(2)		単語	10	レジに案内する金額を伝える・支払いのフレーズ			
5	業種共通フレーズ(3)		単語	15	電話対応			
6	飲食業のフレーズ(1)		単語	5	席への案内から料理の説明まで一連の流れを学ぶ			
7	飲食業のフレーズ(2)		単語	5	食の規律やアレルギーなどの特別な配慮をする			
8	販売業のフレーズ(1)		単語	5	希望を尋ねる・お勧めする			
9	販売業のフレーズ(2)		単語	5	免税の案内や商品の特徴を説明する			
10	宿泊・レジャーのフレーズ(1)		単語	5	あいさつからチェックイン、案内など宿泊施設でのフレーズを学ぶ			
11	宿泊・レジャーのフレーズ(2)		単語	5	ツアーや通園地、博物館など娯楽施設でのフレーズを学ぶ			
12	医療・トラブルの際のフレーズ(1)		単語	5	とっさの対応 病院・クリニック・薬局でのフレーズ			
13	医療・トラブルの際のフレーズ(2)		単語	5	盗難・紛失などのトラブルの際のフレーズ			
14	ロールプレイ		実技	30	これまでに学んだフレーズをロールプレイで実践する			
15	まとめ・Feedback				前期授業のまとめ			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			実践PCスキル			講師名			
担当講師の実務経験			○	実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<p>「Word」「Excel」ともに、各機能を理解しながら、社会人になってからもよく使用する機能を中心に学習し活用できるようになる。</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・達成目標を目指して、Word・Excelの機能的な学習します。 Word：文書の編集・グリティングカードの作成など Excel：見積書・グラフ・日程表の作成など ・Word/Excel以外に個人情報や著作権などの情報倫理を学び、Eメールの送り方も学習します。 ・授業のはじめに10分入力と、10分デザインをします。 				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標			授業形式	
			形式	点数					
1	ガイダンス/フォトブック 【W】Eメールの送り方		課	5	今後の授業を説明。フォトブック構成。 【W】Eメールの送り方・テンプレート			講義	
2	【W】文書の編集/情報倫理 課題案内				段組み・改ページ・タブまで学習する 課題案内			講義	
3	【W】課題作成		筆・課①	25	情報倫理についての筆記試験 前回学習した内容でテーマに沿って 課題を作成する			講義	
4	【W】お絵かき・グリティングカードの作成		課②	15	図形やワードアートを使ってグリティング カードを作成する			講義	
5	【W】履歴書の作成				Wordを使って履歴書テンプレートを作成する			講義	
6	【E】基本操作・四則計算				基本的な操作に簡単な計算を学習する			講義	
7	【E】関数・表作成				簡単な関数・表の作成を学習する			講義	
8	【E】見積書フォームの作成				見積り作成に必要な機能と関数を学習し、 見積書を完成させる（入力規則・応用			講義	
9	【E】復習・グラフ・シート操作				グラフの特性を知り作成する。 Excelシート操作の学習。			講義	
10								講義	
11	【E】Excel総復習・授業内試験		実	30	Excel総復習・授業内試験			講義	
12	【E】スケジュール表作成・印刷 設定 表作成の活用・課題作成				白紙から管理表を作成する。印刷設定を学習 する！ユーザー定義・条件付き書式・ハイパー リンクの操作学習			講義	
13	【E】課題作成				今まで学習した機能を使って日程表と ポスター 作成。フォトブックを仕上げる。			講義	
14			課③・課④	25				講義	
15	総復習 フィードバック				これまでの学習内容の振り返り			講義	
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					<p style="text-align: center;">A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下</p>			オリジナル資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			Conversation Strategies			講師名		
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
ネイティブ講師一人に対して学生4人までとした少人数制のプライベートレッスンでReading, Listening, Writing, Speakingの4技能を鍛える。恥ずかしがらずに英語を話せる環境を作り、総合的な会話力を身に付ける。					毎回の授業でテーマを決め、それについて話し、最後に授業内で発表できる力を付ける。			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	オリエンテーション			授業の内容説明・イントロダクション	講義			
2	効果的な会話の始め方			Open question/Closed questionを学ぶ	講義			
3	チームレッスン①	実技	5	セミプライベートレッスン	実技			
4	チームレッスン②	実技	5	セミプライベートレッスン	実技			
5	チームレッスン③	実技	5	セミプライベートレッスン	実技			
6	チームレッスン④	実技	5	セミプライベートレッスン	実技			
7	チームレッスン⑤	実技	5	セミプライベートレッスン	実技			
8	中間テスト	実技	25	4技能の中間実力テストを実施	実技			
9	チームレッスン⑥	実技	5	セミプライベートレッスン	実技			
10	チームレッスン⑦	実技	5	セミプライベートレッスン	実技			
11	チームレッスン⑧	実技	5	セミプライベートレッスン	実技			
12	チームレッスン⑨	実技	5	セミプライベートレッスン	実技			
13	チームレッスン⑩	実技	5	セミプライベートレッスン	実技			
14	期末テスト	実技	25	4技能の学期末実力テストを実施	実技			
15	まとめ			振り返り・Feedback	講義			
追試詳細					達成度評価	使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			English Practice			講師名		
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・前期に学習した世界の英語の違いについて理解し、様々なアクセントを聞き取ることができるリスニング力を養う。外国で通用する英語の発音力を鍛える。 ・ドラマや映画、アニメなど各自が選んだ映像にアテレコし、発表する 					<ul style="list-style-type: none"> ・映像を見て、世界中で使用されている様々な英語のアクセントや発音、イントネーションの違いを聞き取ることができる。 ・世界のどこへ行っても通じるスピーキング力を身に着ける。 ・自分の声質にあったキャラクターや俳優の映像を選び、音声を付ける。 			
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標		授業形式
				形式	点数			
1	アメリカ英語の特徴について知る					前期の授業を踏まえ、アメリカ英語の特徴を掴む		講義
2	英語のスラングを学ぶ			実技	10	ドラマや若者の間で使われるスラングを知る		実技
3	発音が良く聞こえるテクニックを学ぶ			実技	10	リンキングに挑戦し、ネイティブらしい発音の仕方を知る		実技
4	口の動きを学び発音力強化に繋げる			実技	10	L/R/THなど、口周りの動きを習得する		実技
5	早口言葉			実技	10	英語の早口言葉が言えるようになる		実技
6	音楽から発音を学ぶ					洋楽の聞き取りができるようになる		講義
7	ディズニーから学ぶ英語表現			実技	10	ディズニーの英語表現を学ぶ		実技
8	素材選び					アテレコする素材の選定を行う		講義
9	セリフ練習・暗記					アテレコする素材のセリフを覚えて暗記する		実技
10	発音練習					自然なイントネーションや発音を身に着ける		実技
11	アテレコ実施			実技	10	各自選んだ映像にセリフを吹き込む		実技
12	アテレココンペティション			実技	20	どの作品が一番映像と声が一致しているか投票し、順位を決める		実技
13	発音クリニック (1)			実技	10	アメリカ出発前の最終確認		実技
14	発音クリニック (2)			実技	10	アメリカ出発前の最終確認		実技
15	まとめ・振り返り					後期授業の振り返り		講義
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			English Speech Training			講師名		
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>人前で英語のプレゼンテーションをするときの注意点や準備の仕方を学ぶ。 学生は英語での表現を少しずつ理解し、自分の言葉で様々な場面で使用できる英語力を身につける</p>					<p>英語でのスピーチに必要な3つの部分に重点を置く。プレゼンテーションに必要な非言語表現（声量、テンポ、イントネーション、発音、ジェスチャーなど）を習得し、最終のスピーチコンテストに向け、完成させる。</p>			
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標		授業形式
1	オリエンテーション					クラス内ルール		講義
2	スピーチとプレゼンテーションの違い					スピーチとプレゼンの違いを知る スピーチのテクニックを学ぶ		講義
3	スピーチのテーマを決める			課題	10	テーマを決めて書き出す		講義
4	日本語でスピーチの構成を考える					スピーチのアウトラインを考える		講義
5	導入について					スピーチの始め方を知る		講義
6	導入作成			課題	20	5週目を参考にだしを考える		講義
7	本文について					全体の流れを理解する		講義
8	本文作成			課題	20	具体例を出し、詳細を考える		講義
9	結びについて					スピーチの締めを考える		講義
10	結びの作成			課題	20	締める内容を作成する		講義
11	スピーチの構造					スピーチの全体の流れを再確認		講義
12	スピーチ練習					コンテストに向けての練習		実技
13	スピーチコンテスト			実技	30	スピーチコンテスト		実技
14	振り返り					個人の振り返り		講義
15	まとめ					総まとめ		講義
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			Expression Training			講師名			
担当講師の実務経歴		○	実務経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<p>前期の授業「英語表現基礎」で学んだ英語の表現の方法の基礎を使って、次のステップとして実際に表現を体で覚えていく。</p>					<p>英語でのコミュニケーションに自信をつけるためにスピーキングや会話中の表情なども含めたスキルアップを目指す。留学先でのホストファミリーや友達へのメールの表現なども勉強していく。ネイティブスピーカー独自の表現や語彙、リアクションなどを習得する。</p>				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標			授業形式	
			形式	点数					
1	オリエンテーション				オリエンテーション・クラス内のルール			講義	
2	「英語表現基礎」の振り返り		小テスト	10	前期の振り返りで表現の方法を再確認			講義	
3	関係性での表現の違い				表現方法の違いについて理解			講義	
4	ホストファミリー				ホストファミリーとの会話での表現を習得			講義	
5	友人や身近な人				友人や身近な人との会話での表現を習得			講義	
6	学校の先生や企業の方				目上の人への表現を習得			講義	
7	実技試験①		実技	25	会話内での表現方法の実技試験			実技	
8	非言語コミュニケーション				アイコンアクトやジェスチャー、リアクションについて習得			講義	
9	洋画（ディズニー）				有名映画の1シーンをしながら表現方法を学ぶ			講義	
10	海外ドラマ（フランス）				有名ドラマの1シーンをしながら表現方法を学ぶ			実技	
11	実技試験②		実技	25	映画やドラマ内での表現の実技試験			実技	
12	メールでのテキスト表現		課題	10	テキストにした時の英語表現を学ぶ			講義	
13	テキストの短縮表現				ネイティブスピーカーが頻繁に使うテキスト表現（短縮語）			講義	
14	筆記試験		筆記	25	テキストで使用される表現の理解			講義	
15	総まとめ				振り返り			講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料、アプリや動画		

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			Ideas & Opinions			講師名		
担当講師の実務経歴		○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>前期の続きとして、自分の考え、思いを意見として相手に伝える。 自分の意見に自信を持ち、相手に伝えることを大切に にする。相手の意見も尊重し、どのように伝えたと 伝わりやすいのかを考える。</p>					<p>国内ニュース（NHK）や海外ニュース（CNNや BBC）、新聞（Japan TimesやNY Times）などを 参考に、自分の意見を伝え、相手の意見を受け入れ る。 グループでの話し合いも入れてお互いの意見を確認し 合う。</p>			
実施 回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業 形式		
			形式	点数				
1	前期の復習と授業内容の確認				後期の授業の進め方と理解	講義		
2	海外の新聞の見方				海外の新聞を読み取る力をつける	講義		
3	海外の新聞について①		課題	10	Times（イギリス）から考える	講義		
4	海外の新聞について②		課題	10	NY Times（アメリカ）から考える	講義		
5	新聞から考える自分の意見				日本の新聞と海外の新聞の意見の比較	講義		
6	復習、まとめ1		課題	15	自分の意見をまとめ、話し合う	実技		
7	ニュースから読み取る①		課題	10	NHK（日本）を読み取る	講義		
8	ニュースから読み取る②		課題	10	BBCから見る世界	講義		
9	ニュースから読み取る③		課題	10	CNNから見る世界	講義		
10	復習、まとめ2		課題	15	自分の意見をまとめ、話し合う	実技		
11	日本のできごと				メディアを通じた内容とリアル	講義		
12	世界のできごと				メディアを通じた内容とリアル	講義		
13	日本と世界を比較する		課題	10	前期と後期で習った内容を持ち寄り比較する	講義		
14	復習、まとめ3		実技	10	グループで意見をまとめ、発表する	実技		
15	総まとめ				振り返り	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					<p style="text-align: center;">A 80点以上</p> <p style="text-align: center;">B 70点以上</p> <p style="text-align: center;">C 60点以上</p> <p style="text-align: center;">D 59点以下</p>		NHK、CNN、BBC、 新聞など	

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			TOEIC Listening&Reading			講師名		
担当講師の実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>前期に続いてTOEIC Listening&Reading 各パートの出題形式や特徴を学ぶ、問題演習を行うことで問題形式に慣れる。</p>					<p>各パートの頻出テーマに沿った配布資料を用い問題演習に取り組む。 Listening：語彙、表現の定着のためシャドーイングやペアワークなどを行う。 Reading：テクニック習得と反復で、問題を解くスピードを上げていく。 長文読解に慣れるためタイプ別・種類別の長文を見ていき、設問に慣れ、文構成を理解する。</p>			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	前期の振り返り			授業の進め方を知る 前期の復習を行う	講義			
2	Listening～Part4～	筆記	5	話の流れをつかむ、公共放送	講義			
3	Listening～Part4～	筆記	5	トークの目的は何か、オリエンテーションやツアーガイド	講義			
4	Listening～Part4～	筆記	5	話し手はだれか、広告	講義			
5	Listening～Part4～	筆記	5	ピンポイント問題、紹介	講義			
6	Reading～Part6～			独立型と文型型	講義			
7	Reading～Part6～			転換語、判断が必要な問題	講義			
8	Reading～Part7～	筆記	10	長文問題の理解	講義			
9	Reading～Part7～	筆記	10	パッセージ	講義			
10	Reading～Part7～	筆記	10	商業・求人広告	講義			
11	Reading～Part7～	筆記	10	通信文-Email、手紙	講義			
12	Reading～Part7～	筆記	10	請求書・通知書・メモ	講義			
13	Reading～Part7～			記事	講義			
14	筆記試験	筆記	30	後期総復習の筆記試験	講義			
15	まとめ・振り返り			総復習と振り返り	講義			
追試詳細				達成度評価		使用教材		
<p><授業内試験等により評価> ① 25点 ② 25点 ③ 25点 ④ 25点 *合計 100点満点 *追試詳細は欄外参照</p>				<p>A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下</p>		配布資料		

授業計画書

学部	屋	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			TOEIC Training			講師名		
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
各学生ごとに学びたい内容をフォルダから選び各自レベルアップを行う。指定の単語帳を使用し、TOEICスコアアップの基礎となる語彙力アップを図る。					<ul style="list-style-type: none"> ・学生自身のペースで学習を進め、TOEICスコアアップを目的とする寺子屋スタイルの授業。 ・Google Drive上の週ごとに設定された課題のリスニングパートの読解に取り組む。 ・語彙力強化の為、週ごとに増加する指定の単語帳から単語や述語を覚える（英単語テスト実施） 			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション 夏休み課題確認テスト week12教材 (Part,2,3,4)				学習方法の理解 語彙力向上	講義		
2	week13教材 (Part,2,3,4)		筆記	10	語彙力向上 リスニング力強化	講義		
3	week14教材 (Part,2,3,4)		筆記	10	語彙力向上 リスニング力強化	講義		
4	week15教材 (Part,2,3,4)		筆記	10	語彙力向上 リスニング力強化	講義		
5	week16教材 (Part,2,3,4)		筆記	10	語彙力向上 リスニング力強化	講義		
6	week17教材 (Part,2,3,4)		筆記	10	語彙力向上 リスニング力強化	講義		
7	week18教材 (Part,2,3,4)		筆記	10	語彙力向上 リスニング力強化	講義		
8	week19教材 (Part,2,3,4)		筆記	10	語彙力向上 リスニング力強化	講義		
9	映画アフレコ 単語確認テスト				英語学習アプリを使用し英語でのアフレコ実施によるリスニング力、スピーキング力強化	実技		
10	映画アフレコ 単語確認テスト				英語学習アプリを使用し英語でのアフレコ実施によるリスニング力、スピーキング力強化	実技		
11	week20教材 (Part,2,3,4)				語彙力向上 リスニング力強化	講義		
12	week21教材 (Part,2,3,4)				語彙力向上 リスニング力強化	講義		
13	確認テスト		筆記	30	持ち込み：なし	講義		
14	Feedback week22教材 (Part,2,3,4)				語彙力向上 リスニング力強化	講義		
15	Wrap up				Feedback and Review	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
評価 筆記試験10点×7=70点 30点×1 合計100点					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		ロイロノート	

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			キャリアガイダンス			講師名			
担当講師の 実務経験		○		実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
1. 業界・企業の特徴を理解する 2. 内定につながる各対策 3. 納得できる進路の決定					授業形態：講義 ・就職活動の流れを理解し自分で就活する力をつける ・面接での自己表現力を身につける ・面接での柔軟性、対応力を実践し身につける				
実施 回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標			授業 形式	
1	オリエンテーション・就活の進め方				授業の目的、意義、就活の進め方を理解				
2	書類の書き方①		課題①	15	履歴書作成のポイント①・自己分析、事前課題の振り返りと完成（自己PR）				
3	書類の書き方②				履歴書作成のポイント②・志望動機作成のポイント				
4	説明会での重要なポイント、企業研究について		課題②	15	説明会参加におけるポイントを理解 求人票の理解・就職セミナーⅠについて				
5	面接対策① 講義				面接の基本について理解する				
6	面接対策② 実践		課題③	15	面接の質問対策（よくある質問）				
7	面接練習（実技試験）		実技①	15	様々な質問に対し臨機応変に対応する				
8	グループディスカッション対策① 講義				グループディスカッションのポイント を理解する				
9	グループディスカッション対策② 実践				グループディスカッションの実践				
10	グループディスカッション対策③（実技試験）		実技②	10	グループディスカッション実技練習				
11	面接練習③ 応用（実技試験）		実技③	15	様々な質問に対し臨機応変に対応する				
12	面接練習④ 応用（実技試験）		実技④	15	様々な質問に対し臨機応変に対応する				
13	企業研究				企業研究の方法や就職情報サイトの活用方法 を知る				
14	振り返り・今後の就活について				振り返りと今後の対策・就活書類の説明				
15	まとめ				これまでの総復習・就職セミナーⅡの 準備を行う				
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			ビジネスプレゼンテーション			講師名			
担当講師の実務経験		○		実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
社会人として必要なプレゼンテーションスキルを習得する。 またチームビルディングの重要性を理解するとともに、主体的に行動できる人材となる					BTS（少数オーダーメイド式学習法）を取り入れ、PDCAサイクルを使用しながらチームでプロジェクトの構想、発表を行う				
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式				
		形式	点数						
1	オリエンテーション 前期振り返り			前期の内容を振り返り、今後の授業の流れや目的を理解する	講義				
2	BTS企画構想（チーム）	課題	10	前期で決めたテーマを基に、より具体的な企画を構想する	講義				
3	プレゼンテーション技法 （PREP構造） BTS企画制作	課題	5	PREP構造を理解し、論理的なプレゼンテーションスキルを習得する	講義				
4	プレゼンテーション技法（図解の仕方） BTS企画制作	課題	5	効果的な図解の使用方法を学び、自身のプレゼンテーションに取り入れる	講義				
5	プレゼンテーション技法（ストーリーテリング-TAPS） BTS企画制作	課題	5	相手に伝えたい思いやコンセプトを、印象的なエピソードを交えて伝える手段を学ぶ	講義				
6	プレゼンテーション技法（身体感覚） BTS企画制作	課題	5	身体を使い、聴き手の五感に訴えられるスキルを習得する	講義				
7	プレゼンテーション技法（接客販売士） BTS企画制作	課題	5	接客販売士が駆使しているプレゼン手法を学び、自身のプレゼンテーション力を向上させる	講義				
8	BTS企画発表準備			校内発表に向けてチームで発表準備を行う	講義				
9	BTS企画発表準備			校内発表に向けてチームで発表準備を行う	講義				
10	BTS企画発表準備（リハーサル）	実技	10	校内発表に向けてリハーサル実施する	実技				
11	BTS校内発表会	課題 実技	10 20	校内発表	実技				
12	BTS校内発表フィードバック	課題	5	フィードバックを基に検証を行い、改善内容を検討する	講義				
13	PR動画準備（計画、絵コンテ作成）	課題	10	効果的なPR方法を考える内容に応じた絵コンテを作成	講義				
14	PR動画準備（撮影、編集）			前週に計画したPR動画の撮影、編集	講義				
15	PR動画発表、振り返り	実技	10	PR動画の発表、全体振り返り	実技				
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
総時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			サービス演習 応用 I			講師名		
担当講師の実務経歴		○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>観光業界への就職を目指し、接客の基本となるサービスやマナーの応用を学ぶ。 前期に学んだ日本のおもてなし文化を実践的に行う。</p>					<p>様々な業界出身講師による指導のもと、座学と実技を交えてサービスの応用やマナーについて日本語で接客のプロから学ぶ。</p>			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	オリエンテーション				講義			
2	日本の観光業界での応用とは	課題	10	日本の接客・サービス業界で求められる応用スキルを身につける	講義			
3	日本の接客・サービスの応用①			日本の接客で必要となるものの応用を学ぶ	講義			
4	日本の接客・サービスの応用②			日本の観光業界でのおもてなしの応用を知る	講義			
5	日本の接客・サービスの応用③	筆記	25	接客・サービスをお客様目線で考える	講義			
6	日本の接客・サービス業界の仕事①			日本人の接客業界に求めるものを応用を学ぶ	講義			
7	日本の接客・サービス業界の仕事②			日本の特別な「おもてなし」とはの応用を知る	講義			
8	日本の接客・サービス業界の仕事③	課題	15	接客や販売の心理学を学ぶ①	講義			
9	日本の接客・サービス業界の仕事④			接客や販売の心理学を学ぶ②	講義			
10	日本の接客・サービス業界の仕事⑤			サービス業界でのおもてなし実務を応用として学ぶ①	実技			
11	日本の接客・サービス業界の仕事⑥	筆記	25	サービス業界でのおもてなし実務を応用として学ぶ②	実技			
12	日本の接客・サービス業界の仕事⑦			サービス業界でのおもてなし実務を応用として学ぶ③	実技			
13	日本の接客・サービス業界の仕事⑧			接客方法や販売方法を実務で応用的に身につける①	実技			
14	日本の接客・サービス業界の仕事⑨	筆記	25	接客方法や販売方法を実務で応用的に身につける②	実技			
15	接客・サービス業界の仕事まとめ			観光業界の仕事まとめ	講義			
追試詳細					達成度評価	使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
総時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			サービス演習 応用Ⅱ			講師名		
担当講師の実務経験		○	実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>観光業界への就職を目指し、接客の基本となるサービスやマナーの応用を学ぶ。 前期で学んだことを活かし、海外のHospitalityを応用的に身につける。</p>					<p>様々な業界出身講師による指導のもと、座学と実技を交えてサービスの応用やマナーについて英語でネイティブの接客のプロから外国人への接客方法を学ぶ。</p>			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	オリエンテーション				講義			
2	海外の観光業界での仕事～応用～	課題	10	接客・サービス業界で求められる外国人観光客に対する接客スキルを応用的に身につける	講義			
3	海外の接客・サービスの応用①			「Hospitality」とはを応用して学ぶ	講義			
4	海外の接客・サービスの応用②			海外の観光業界に必要な応用知識を得る①	講義			
5	海外の接客・サービスの応用③	筆記	25	海外の観光業界に必要な応用知識を得る②	講義			
6	海外の接客・サービス業界の仕事①			Hospitalityを応用実務で学ぶ	実技			
7	海外の接客・サービス業界の仕事②			外国からのお客様へのアプローチの仕方を応用的に学ぶ①	実技			
8	海外の接客・サービス業界の仕事③	課題	15	外国からのお客様へのアプローチの仕方を応用的に学ぶ②	実技			
9	海外の接客・サービス業界の仕事④			海外の接客・サービス業界でのマナーの応用を学ぶ	実技			
10	海外の接客・サービス業界の仕事⑤			外国人に対しての接客・販売方法を応用的に身につける①	実技			
11	海外の接客・サービス業界の仕事⑥	筆記	25	外国人に対しての接客・販売方法を応用的に身につける②	実技			
12	海外の接客・サービス業界の仕事⑦			海外での「OMOTENASHI」の応用を習得①	実技			
13	海外の接客・サービス業界の仕事⑧			海外での「OMOTENASHI」の応用を習得②	実技			
14	海外の接客・サービス業界の仕事⑨	筆記	25	海外での接客マナー、技術の復習	実技			
15	接客・サービス業界の仕事まとめ			海外の観光業界の知識・技術のまとめ	講義			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			マナープロトコール			講師名		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. 社会人として必須のマナーやプロトコール（国際儀礼）に関わる知識と技能を学ぶとともに日本の伝統文化に基づくしきたりやマナーを理解し身につける。 2. マナー・プロトコール検定3級合格を目指す。					テキスト『マナー&プロトコールの基礎知識』に沿って授業を実施し、知識を習得する。過去問題に取り組み、知識を定着させ、検定合格を目指す。国際社会でのマナーを含めながら検定対策も行う。			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション マナーとは何か/マナーの歴史と意味				序章・第1章を理解し、検定対策問題を解く	講義		
2	国際プロトコール				第2章を理解し、検定対策問題を解く	講義		
3	国際人としてのマナー				第2章を理解し、検定対策問題を解く	講義		
4	国際社会でのマナー		筆記	20	国際的なマナー、国連、ユニセフなどについて理解する	講義		
5	社会人に必要なマナー				第3章を理解し、検定対策問題を解く	講義		
6	ビジネスシーンでのマナー①				第4章を理解し、検定対策問題を解く	講義		
7	ビジネスシーンでのマナー②				第4章を理解し、検定対策問題を解く	講義		
8	食事のマナー①		筆記	20	第5章を理解し、検定対策問題を解く	講義		
9	食事のマナー②				第5章を理解し、検定対策問題を解く	講義		
10	「冠」のしきたり		筆記	20	第7章を理解し、検定対策問題を解く	講義		
11	「婚」のしきたり				第8章を理解し、検定対策問題を解く	講義		
12	「葬」のしきたり		筆記	20	第9章を理解し、検定対策問題を解く	講義		
13	「祭」のしきたり				第10章を理解し、検定対策問題を解く	講義		
14	日常のマナー		筆記	20	検定外のマナーについて習得する	講義		
15	宗教上のマナー				国際社会を理解する	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		・マナー&プロトコールの基礎知識 ・マナー・プロトコール検定2級・3級問題集 ・オリジナル資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			業界英会話			講師名		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
●身近なトピックを通して日常英会話を学び、自身の伝えたいことを表現できるようにする。					発音に重視し、きれいな英語を習得する			
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式
1	オリエンテーション、自己紹介			実技	5	授業の進め方、自己紹介応用編		講義
2	コミュニケーション①					友人作りに使える英語を学ぶ		講義
3	コミュニケーション②					授業で使える英語を学ぶ		講義
4	生活①			筆記	10	交通で使える英語を学ぶ		講義
5	生活②					寮や学内で使える英語を学ぶ		講義
6	トラブル①					病院で使える英会話		講義
7	トラブル②					荷物紛失、事故の時に使える英会話		講義
8	課題発表/個人ワーク①			筆記	15	外国人に日本文化を伝える		講義
9	個人ワーク②					課題に沿ったワーク		講義
10	個人ワーク③					課題に沿ったワーク		講義
11	個人ワーク④			課題	20	リハーサル		講義
12	発表			実技	20	日本の文化案内実技試験		実技
13	テスト対策					次週のテスト対策		講義
14	実力テスト			筆記	30	オンラインレッスン⑨ 買い物での英語をを学ぶ（応用）		講義
15	まとめ					後期の総まとめ		講義
追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			実践PCスキル			講師名		
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション検定（3級及び2級）が取得できる操作を学習し、検定合格を目指します。 ・検定内容以外でも、プレゼンに効果的なPowerPointの応用機能を学習し、活用できるようになります。 					<ul style="list-style-type: none"> ・達成目標を目指して、PowerPointの基本操作と検定特有の解答方法を習得します。 ・検定申し込み後は、授業の前半に「検定学習」をし、後半にはプレゼンに効果的な応用機能を活用した「課題作成」を行います。 			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	ガイダンス／現状確認／PPTアプリの紹介				授業の進め方・検定の案内	講義		
2	PowerPointの基礎Ⅰ				スライド番号・背景・文字の挿入 図形描画・画像の挿入・スライド挿入	講義		
3	PowerPointの基礎Ⅱ 授業内試験①		実	10	アニメーションの挿入・表の挿入 ・箇条書き記号 / アニメ無のテスト	講義		
4	検定3級にチャレンジ ／検定2級の操作				3級練習問題 アニメーションの応用・表の加工	講義		
5	検定2級/授業内試験②		実	15	その他の機能・注意事項/既定の図形 検定3級レベルのテスト	講義		
6	検定対策／課題案内及び作成				スライド開始番号・画像の保存と挿入 課題の案内及び作成開始	講義		
7	検定対策／課題作成		課	10	検定問題にチャレンジ 課題の作成	講義		
8	検定対策／課題作成		課	10	検定問題にチャレンジ 課題の作成	講義		
9	課題作成及び提出		課	10	検定問題にチャレンジ 課題の作成及び提出	講義		
10	プレゼンに役立つ機能				スライドマスタ・配布資料の印刷 アニメーションのタイミング設定	講義		
11	検定対策／課題作成		課	15	検定問題にチャレンジ 課題の作成	講義		
12	復習／授業内試験③		実	15	検定2級レベルのテスト	講義		
13	課題作成及び提出				課題の作成及び提出	講義		
14			課	15		講義		
15	総復習 フィードバック				これまでの学習内容の振り返り	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		オリジナル資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス				
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修		
科目名			Business English			講師名				
担当講師の実務経歴		○		実務経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
海外取引や海外赴任、外資系会社就職を想定し、英語を使用したビジネスシーンにおける電話対応・交渉・謝罪ができるようになるためのリスニング・スピーキング力を習得する。					ネイティブ講師の指導の下、英語で仕事ができるようになるようリスニング力・スピーキング力を鍛える。					
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式					
		形式	点数							
1	オリエンテーション・ビジネス英語とは			授業の概要・進め方の説明 日常会話とビジネス会話の違い	講義					
2	電話を受ける（１）			最初に電話にを受けた時の対応・用件を伺う	講義					
3	電話を受ける（２）			相手の情報を聞き取る・担当者を確認する	講義					
4	ロールプレイ	実技	20	電話を受ける流れを実践する	実技					
5	電話をかける（１）			名乗る・取り次いでもらう アポイントの時間／場所を決める	講義					
6	電話をかける（２）			用件を伝える 担当者が不在時の対応・アポイントの変更	講義					
7	ロールプレイ	実技	20	電話をかける流れを実践する	実技					
8	ビジネスの交渉（１）			交渉前の良い関係作り・交渉の始まり	講義					
9	ビジネスの交渉（２）			交渉の目的や提案内容を明示する 不明点を明確にする・内容を確認する	講義					
10	ロールプレイ	実技	20	ビジネスシーンの交渉の流れを実践する	実技					
11	謝罪の仕方（１）			礼儀に正しい謝罪の仕方	講義					
12	謝罪の仕方（２）	実技	20	原因の説明・謝罪に添える言葉	講義					
13	会議（１）			司会・まとめ役	講義					
14	会議（２）	実技	20	参加者・質問の仕方 会議の流れを実技形式で行う	実技					
15	まとめ・Feed back			前期のまとめ	講義					
追試詳細					達成度評価		使用教材			
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下					

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス	
時間数			30	単位数	2	区分	
科目名			Discussion&Debate Training			講師名	
担当講師の 実務経歴		○		実務 経歴			
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方			
ディスカッション：毎週異なるトピックについてチームで議論し、意見をまとめる。 ディベート：毎週異なるトピックについて賛成意見・反対意見の両方が言えるようになる。				毎授業のトピックに基づき、前半はチームでディスカッション、後半は賛成／反対の2グループに分かれてディベートを展開する。			
実施 回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業 形式		
		形式	点数				
1	オリエンテーション			授業の概要・説明 ディスカッションとディベートの違い	講義		
2	ディスカッションの目的・ねらい			基本的な知識・ルールを学び、最低限必要な表現を学ぶ	講義		
3	ディスカッショントピック① エスカレーターを歩くこと	実技	10	チームで分かれて議論し、意見をまとめる	実技		
4	ディスカッショントピック② iPhoneとAndoroidどちらが良いか	実技	10	チームで分かれて議論し、意見をまとめる	実技		
5	ディスカッショントピック③ 愛犬へのマイクロチップ埋め込み	実技	10	チームで分かれて議論し、意見をまとめる	実技		
6	ディスカッショントピック④ 週休3日制の是非	実技	10	チームで分かれて議論し、意見をまとめる	実技		
7	ディスカッションまとめ			ディスカッションを通しての感想	講義		
8	ディベートの目的・ねらい			基本的な知識・ルールを学び、最低限必要な表現を学ぶ	講義		
9	ディベートトピック① 子どもはSNSを使うべきではない	実技	10	賛成・反対チームとジャッジを決めディベートする	実技		
10	ディベートトピック② 動物実験は禁止すべきだ	実技	10	賛成・反対チームとジャッジを決めディベートする	実技		
11	ディベートトピック③ レジ袋の使用を廃止すべきだ	実技	10	賛成・反対チームとジャッジを決めディベートする	実技		
12	ディベートトピック④ 都会暮らしと田舎暮らしはどちらが良いか	実技	10	賛成・反対チームとジャッジを決めディベートする	実技		
13	学内ディベート大会実施	実技	20	ジャッジに特別講師をお招きし、学内でのディベート大会を実施する	実技		
14	ディベート大会の結果・振り返り			各自感想を共有する	講義		
15	まとめ・Feed back			前期授業のまとめ	講義		
追試詳細				達成度評価		使用教材	
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス	
時間数			30	単位数	2	区分	
科目名			English Presentation Practice			講師名	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方			
<p>全て英語のプレゼンテーションを準備・作成から発表まで行う。パワーポイントを作成し目に見える資料を作成する。 評価の高かった生徒は12月に東京で開催される「全国英語スピーチコンテスト」への参加を考慮する。</p>				<p>プレゼンテーションに慣れるため、TEDトークを活用し話し方やトピック選びの参考にする。 実際にプレゼンテーションの原稿やパワーポイントを作成し、暗記して本番のスピーチコンテストに挑む。</p>			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
		形式	点数				
1	イントロダクション			授業の進め方・説明・オリエンテーション	講義		
2	TED Talk (1)	筆記	10	TEDトークを聞き、感想をシェアする	講義		
3	TED Talk (2)	筆記	10	各自宿題として聞いて来たTEDトークをクラスメイトにプレゼンする	実技		
4	プレゼンテーション作成の始め方			トピックの選定・原稿作成の開始	講義		
5	計画を練る：アウトラインを決める			生徒の原稿作成の補助	講義		
6	原稿作成・作業時間			生徒の原稿作成の補助	講義		
7	途中経過の確認	実技	15	途中経過を確認し、アドバイスする	実技		
8	プレゼンテーションスキルについて			発音やイントネーション、テンポをレクチャーする	講義		
9	完成形の確認	実技	15	授業の終わりまでに完成させて提出する	実技		
10	暗記・練習			発音やイントネーション、テンポを録音し生徒に共有・アドバイスをする	講義		
11	発表前最後の練習	実技	20	暗記できているか確認	実技		
12	リハーサル			コンテスト本番通りの練習	講義		
13	スピーチコンテスト実施	実技	30	学内スピーチコンテスト開催	実技		
14	スピーチコンテスト結果			優秀者は全国スピーチコンテストへの参加を検討	講義		
15	まとめ・Feed back			前期授業のまとめ	講義		
追試詳細				達成度評価		使用教材	
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			Expression Training			講師名		
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>国際人に必要不可欠な「表現力」を手に入れる。英語で物事を伝える、表現する楽しさを学び、体現する。ネイティブスピーカーのスピードで話せるスピーキング力を習得する。また、全員でひとつの作品を創りあげることによってコミュニケーション力を養い、積極性を手に入れる。</p>					<p>発表を通して、英語で伝える・表現するということを感じ取る。シアタートレーニングや演劇作品づくりを中心に進める。期末には成果発表会にて全員出演の演劇作品を上演する。スーツやスカート、ヒールなど動きが制限される服装での出席は認めません。必ず動きやすい服装で参加すること。</p>			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	授業内容理解			国際人として活躍するためにはなぜ表現力が必要かを理解する	講義			
2	シアターゲームトレーニング①			簡単なトレーニングに挑戦し、表現することを楽しむ	実技			
3	シアターゲームトレーニング②			簡単なトレーニングに挑戦し、表現することを楽しむ	実技			
4	シアターゲームトレーニング③・台本	実技	20	期末発表会上演する作品の台本を恥ずかしがらずに思い切り読んでみる 発表会の内容を理解する	実技			
5	発表会に向けての練習①			大きな声ではっきりと読めるようになる	講義			
6	発表会に向けての練習②	実技	20	自分の立ち位置をしっかりと見え、全員で作品を創っていくより大きく思いきって表現できるようになる	実技			
7	発表会に向けての練習③			自分の立ち位置をしっかりと見え、全員で作品を創っていくより大きく思いきって表現できるようになる	実技			
8	発表会に向けての練習④	実技	21	衣裳・小道具を使用してすべて本番通りに	実技			
9	作品づくり⑤ 中間発表	実技	20	台詞や動きを覚えて演じる	実技			
10	作品づくり⑤			よりよくするにはどうすればいいかを考え、実行する	実技			
11	本番を想定したリハーサル①			本番を想定したリハーサルを行う フィードバックをもとに微調整を行う	実技			
12	本番を想定したリハーサル②			本番を想定したリハーサルを行う	実技			
13	本番	実技	20	学内発表	実技			
14	これまで学習した内容の復習			これまで学習した内容の復習	講義			
15	後期に向けて			後期授業に向けて各自の課題を確認する	講義			
追試詳細					達成度評価	使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			IT Skills			講師名		
担当講師の実務経験		○	実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスシーンで最も活用されているOfficeソフトの操作スキルを証明するMOS（Microsoft Office Specialist）のWordを取得を目指す ・Word文書の共有と管理、コンテンツの書式設定、ページのレイアウトと再生利用可能なコンテンツの適用方法を習得する。 					<ul style="list-style-type: none"> ・実際にWordを使用しながら、それぞれのコンテンツの使用法、活用方法を習得する。 ・基礎編から応用編まで小テスト形式で確認を行いMOS習得に向けた検定対策として過去問題にもチャレンジしていく。 			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	Wordの基礎知識				wordの基礎知識を理解する			
2	文字の入力		課題	10	wordでのスムーズな文字の入力方法を習得する			
3	文書の作成①		課題	10	基礎的な文書の作成ができるようになる			
4	表の作成		課題	10	word内での基礎的な表作成ができるようになる			
5	文書の作成②		課題	10	図形や図表を使った文書の作成ができるようになる			
6	文書の作成③		課題	10	写真を使った文書の作成ができるようになる			
7	文書の編集		課題	10	作成した文書の編集に使用する機能を理解する			
8	文書の印刷		課題	10	作成した文書の印刷時に使用する機能を理解する			
9	長文作成		課題	10	限られた時間の中で長文作成ができるようになる			
10	表現力をアップする機能				文章の表現力を高めるword機能を習得する			
11	文書の校閲				文章の校閲希望を理解する			
12	excelデータを利用した文書作成				excelデータを活用した文書の作成方法を理解する			
13	便利機能				便利機能を学び活用方法を習得する			
14	検定対策①		実技	20	検定直前対策			
15	検定対策②				検定直前対策			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
課題→授業内作成課題、母数減らし					<ul style="list-style-type: none"> A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下 			

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			Job interview training			講師名			
担当講師の実務経験		○		実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
英語の履歴書やカバーレターの書き方、面接の対策など就職活動のための総合的な英語トレーニングを実施する。 模擬英語面接を実施し、ビジネスの場でも通用するマナーや言葉遣いを身に付ける。					二年次に活発化する就職活動のために、いつでも採用試験に応募することができるよう授業内で準備・練習する。				
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式				
		形式	点数						
1	オリエンテーション			授業の内容説明 外資系・海外就職について	講義				
2	自己分析・自己PR			英語で自分自身を説明できるようになる	講義				
3	履歴書・カバーレターに書かれる単語やフレーズを学ぶ	筆記	10	語彙・フレーズを理解する	講義				
4	履歴書の作成（1）			履歴書を書き始める	講義				
5	履歴書の作成（2）	筆記	10	作成の続き・添削	講義				
6	カバーレターの作成（1）			カバーレターを書き始める	講義				
7	カバーレターの作成（2）	筆記	10	作成の続き・添削	講義				
8	外資系企業の面接対策			外資系企業の採用試験を想定し、英語・日本語両方で行われる面接スタイルを学ぶ	講義				
9	外資系企業の面接練習	実技	15	グループに分かれ実際の面接の練習を実施	実技				
10	海外就職に備えて			国による働き方や面接の雰囲気の違いを学ぶ	講義				
11	海外就職面接対策			海外の就職試験を想定し、その対策を学ぶ	実技				
12	海外就職試験練習	実技	15	グループに分かれ英語のみの面接練習を行う	実技				
13	マンツーマン面接練習（1）	実技	20	制限時間を設けて講師とマンツーマンで練習を行う	実技				
14	マンツーマン面接練習（2）	実技	20	制限時間を設けて講師とマンツーマンで練習を行う	実技				
15	まとめ・Feedback			授業のまとめ	講義				
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			OMOTENASHI English			講師名			
担当講師の実務経験		○		実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
1年次に英語力やコミュニケーション力を活かしながら、ホスピタリティ業界で活躍できる力をつけていく。また英語力を活かせる仕事として、医療関係の仕事に就く際に必要となる表現を身につける。グローバル化した社会に対応できる人材の育成に役立つ内容を扱う。					授業形態：グループワーク、ロールプレイング 実践的なTASKを通して各TOPICについての理解を深める。観光分野で使用する単語、英語表現を学習し、具体的場面におけるのシミュレーション・ロールプレイングを実践的に行う。				
実施 回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業 形式			
			形式	点数					
1	オリエンテーション				授業内容の確認とゴールについて	講義			
2	旅行代理店1				旅行商品の販売、予約代行などのhow toについて	講義			
3	旅行代理店2				パンフレットを見ながらお客様に提案する	講義			
4	ツアーコンダクター				現地での観光案内に役立つ表現の習得	講義			
5	実技試験①		実技	25	旅行についての実技試験	実技			
6	航空・ホテル1				空港やホテルで使う表現を習得する	講義			
7	航空・ホテル2				空港やホテルで使う表現を習得する	講義			
8	実技試験②		実技	25	航空・ホテルについての実技試験	実技			
9	予約の取り方と受け方				様々な現場での予約の取り方、受け方を学ぶ	講義			
10	医療現場 1				一般的な問題について表現する、アドバイスを行う	講義			
11	医療現場 2				医療現場で起こる問題、患者の問題を聞き入れ指示を出す	講義			
12	医療現場 3				医療現場での単語や表現を復習する	講義			
13	実技試験③		実技	25	医療現場についての実技試験	実技			
14	筆記試験、まとめ		筆記	25	総合の筆記試験、まとめ	講義			
15	総まとめ				振り返り	講義			
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布プリント		

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			Team Building			講師名		
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
外国人留学生ホテル科（1年生）との異文化交流で、日本の文化と海外の文化の相違点を理解する。海外のスタッフと働くことや、海外で働くことを目標とし、様々な意見や考えを受け入れグローバル人材を目指す。					テーマに沿った内容をもとに自分の意見を相手に伝え、相手の意見を尊重するため、グループワークを中心とした授業を行う。自らが考え行動に移す力を身に身に付ける。それぞれのテーマを決め、発表の資料を作り、発表まで行う。			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション				授業の進め方・テーマを理解する チームでの仕事とは？	講義		
2	グループワーク①		課題	10	コミュニケーションワーク・チーム決め	講義		
3	グループワーク②		課題	10	ブレインストーミング	講義		
4	グループワーク③		課題	10	日本の文化・言語などについて理解する	講義		
5	グループワーク④		課題	10	海外の文化・言語などについて理解する	講義		
6	グループワーク⑤		課題	10	4週目、5週目をもとに発表のテーマを決め、資料作成に入る	講義		
7	グループワーク⑥		課題	10	発表資料の作成①	講義		
8	グループワーク⑦		課題	10	発表資料の作成②	講義		
9	グループワーク⑧		課題	10	発表資料の作成③	講義		
10	プレゼンテーション（リハーサル①）				リハーサルを行い修正点を明確にする （課題発見力の向上を図る）	実技		
11	プレゼンテーション（内容修正）		課題	10	先週を振り返り、修正を加え完成させる （課題解決力の向上を図る）	講義		
12	プレゼンテーション（リハーサル②）				最終打ち合わせを行う	実技		
13	プレゼンテーション（本番）		実技	10	プレゼンテーション実施	実技		
14	プレゼンテーション振り返り				各チームの振り返りを行う	講義		
15	総まとめ				振り返り	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			TOEIC Listening&Reading			講師名		
担当講師の実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
TOEICの更なるスコアアップを目指した対策を行う。オンライン英会話を活用し、英語力の維持、向上につなげる。					DMM英会話で日常英会話から時事問題など高度なTopicについても自身の意見を明確に伝えられる様アウトプットトレーニングを行う。 TOEIC Reading Part7対策として、速読トレーニングを実施			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	オリエンテーション 実力確認			DMM英会話の登録 TOEIC Listening Part1-4実施	講義			
2	DMM英会話 Part1, 2	課題	15	DMM英会話 問題演習・解説	講義			
3	DMM英会話 Part3, 4	課題	15	DMM英会話 問題演習・解説	講義			
4	DMM英会話 Part5, 6	課題	15	DMM英会話 問題演習・解説	講義			
5	DMM英会話 Part7	課題	15	DMM英会話 問題演習・解説	講義			
6	DMM英会話 Part7			DMM英会話 問題演習・解説	講義			
7	DMM英会話 Part7			DMM英会話 問題演習・解説	講義			
8	DMM英会話 速読トレーニング	課題	10	DMM英会話 問題演習・解説	講義			
9	DMM英会話 速読トレーニング			DMM英会話 問題演習・解説	講義			
10	DMM英会話 速読トレーニング			DMM英会話 問題演習・解説	講義			
11	DMM英会話 速読トレーニング			DMM英会話 問題演習・解説	講義			
12	DMM英会話 速読トレーニング			DMM英会話 問題演習・解説	講義			
13	期末テスト	筆記	30	期末テスト TOEIC全パート振り返り	講義			
14	総まとめ			フィードバック	講義			
15	長文読解トレーニング				講義			
追試詳細				達成度評価		使用教材		
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			World News			講師名		
担当講師の実務経験		○	実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・時事ニュース関連の用語を覚え、英文の新聞記事やニュースなどを理解できるようになる ・英語のニュースを聞いて内容を理解し、英語の問いに英語で答えたり、内容を説明したり、意見を述べられるようになる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・時事的な諸問題を、様々なグループワークを通して学び、英語で自分の考えを書いたり、述べたりできるようになる。発表の仕方や、内容についてもグループ内で乾燥をフィードバックし合い、意見を伝える力を養う。 			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	芸能ニュースの視聴・説明				芸能ニュースの内容を理解し、説明する			
2	芸能ニュースの用語説明・作成		課題	10	芸能ニュースで多用される用語を理解し活用する、芸能ニュースを作成する			
3	芸能ニュースの発表・フィードバック		実技	15	グループで調べた芸能ニュースを発表し、フィードバックを行う			
4	料理番組の視聴・説明				料理番組の内容を理解し、説明する			
5	料理のレシピ作成		課題	10	料理のレシピを英語で考え、料理番組を作成する			
6	料理番組の発表・フィードバック		実技	15	グループで作成した料理番組を発表し、フィードバックを行う			
7	ニュース番組の字幕について				ニュース番組の字幕を視聴し内容を理解する			
8	時事問題について				時事問題についての内容を理解し、説明する			
9	時事問題について		課題	10	時事問題についてディスカッションを行う			
10	スポーツニュースの視聴・説明				スポーツ番組の内容を理解し、説明する			
11	スポーツニュースの用語説明・作成		課題	10	スポーツ番組で多用される用語を理解し、活用する、スポーツ番組を作成			
12	スポーツ番組の発表・フィードバック		実技	15	グループで作成したスポーツ番組を発表し、フィードバックを行う			
13	新聞・雑誌の読解				新聞の見出しや、雑誌の文面の内容を理解し、読解力を身につける			
14	新聞・雑誌の作成		課題	15	自身の好きなもの。ことについて英字雑誌を作成する			
15	発表				作成したオリジナル雑誌の発表			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	屋	学科 科	英語科	年次	2	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		イベントプランニング				講師名		
担当講師の実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
Japan Party」に向けての企画・打ち合わせ・準備を、外国語学科3科合同で一から自分達自身で創り上げていく授業					授業形態：講義 外国人の方との接点・交流を大きなコンセプトに、外国人の方々に日本文化を感じてもらい、楽しんで頂くイベント創りをする			
実施回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式	
1	オリエンテーション・授業の進め方				自己紹介、ジャパンパーティとは		講義	
2	コンセプト決め				今年のコンセプトを考える		講義	
3	コンセプトプレゼン		実技	20	コンセプトプレゼンテーション		実技	
4	Japan Party準備		実技	5	役割分担		講義	
5	Japan Party準備		実技	5	屋台準備		実技	
6	Japan Party準備		実技	5	屋台準備		実技	
7	Japan Party準備		実技	5	屋台準備		実技	
8	Japan Party準備		実技	5	ステージ出し物準備		実技	
9	Japan Party準備		実技	5	ステージ出し物準備		実技	
10	Japan Party準備		実技	5	ステージ出し物準備		実技	
11	リハーサル		実技	10	屋台最終リハーサル		実技	
12	リハーサル		実技	10	ステージ最終リハーサル		実技	
13	本番（7月の第一土曜日）		実技	25	Japan Party本番		実技	
14	振替休講				Japan Partyの振替休講			
15	振替休講				Japan Partyの振替休講			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定 必要物を購入する時は、必ず担当教員の許可をえてからにすること。またレシートの裏にクラスと名前を記載すること。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料 プリント配布	

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			キャリアガイダンス			講師名			
担当講師の実務経験		○		実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
1. 内定につながる各対策 2. キャリア形成、キャリアビジョンに向き合う					授業形態：講義 ・面接での自己表現力を身につける ・面接での柔軟性、対応力を実践しみにつける ・自分の人生を自分でデザインする				
					実施回数	学習項目	授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標
1	オリエンテーション・就活の進め方			授業の目的、意義、就活の進め方を理解	講義				
2	合同グループ面接			実践を通して学び、本番に備える	講義				
3	面接対策①	実技	20	ロールプレイング	講義				
4	面接・書類対策③ 内定者プログラム		5	・就職活動で苦手分野を克服する ・自身のキャリアプランを考える	講義				
5	面接・書類対策④ 内定者プログラム		5	・就職活動で苦手分野を克服する ・自身のキャリアプランを考える	講義				
6	面接・書類対策⑤ 内定者プログラム		5	・就職活動で苦手分野を克服する ・自身のキャリアプランを考える	講義				
7	面接・書類対策⑥ 内定者プログラム		5	・就職活動で苦手分野を克服する ・自身のキャリアプランを考える	講義				
8	キャリアアップ講座①	課題	10	業界人によるキャリアアップ講座	講義				
9	観光マーケット研究①	課題	10	様々な業界の仕事を知る	講義				
10	キャリアアップ講座②	課題	10	業界人によるキャリアアップ講座	講義				
11	観光マーケット研究②	課題	10	様々な業界の仕事を知る	講義				
12	キャリアアップ講座②	課題	10	業界人によるキャリアアップ講座	講義				
13	キャリアデザイン①			自己実現のために仕事を中心とした人生設計を行う	講義				
14	キャリアデザイン②			自己実現のために仕事を中心とした人生設計を行う	講義				
15	キャリアデザイン発表	実技	10	自身のキャリアデザインを共有する	講義				
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料		

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			サービス演習 発展 I			講師名			
担当講師の 実務経歴		○	実務 経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
接客・サービス業界への就職を目指し、 業界に相應しい人材となるため、 ウォーキング、ヘアメイク、発声を学ぶ					座学と実技をバランスよく取り入れながら展開する。 (座学で知識を学び、実技に結び付ける。)				
実施 回数	学習項目		授業内テスト 形式		点数	各回の到達目標			授業 形式
1	オリエンテーション								講義
2	接客サービスの基本(復習)					1年次復習(接客に相應しい挨拶、身だしなみ、言葉遣いなどを復習する)			講義
3	ウォーキング①					歩き方の基本姿勢を知る			実技
4	ウォーキング②					足運び、腕の振りの理解と習得			実技
5	ウォーキング③					美しい立ち居振る舞いを知る			実技
6	ウォーキング④					ビデオチェック ウォーキング総まとめ			実技
7	ヘアメイク①					普段のヘアメイクと接客時の ヘアメイクの違いを知る			講義
8	ヘアメイク②					接客に相應しいメイクを知る			講義
9	ヘアメイク③					接客に相應しいメイク・ヘアメイク実 践			実技
10	ボイストレーニング①					正しい発声とは何かを知る			講義
11	ボイストレーニング②					発声を意識しながら、 人前で話すことに恐怖心を取り去る			講義
12	ボイストレーニング③					様々なシーンを想定して話す			講義
13	ボイストレーニング④					自分の声を把握する			講義
14	ボイストレーニング⑤					身に付けた発声を活かしてスピーチ			実技
15	まとめ								講義
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス			
総時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			サービス演習 発展Ⅱ			講師名			
担当講師の実務経験		○	実務 経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
1年間学んできたものを実際の現場（海外の観光業界）で即戦力として使えるように実践的に身につける。					様々な業界出身講師による指導のもと、実技メインに発展的なサービス演習やマナーについて英語でネイティブの接客のプロから外国人への接客方法を学ぶ。				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
			形式	点数					
1	オリエンテーション					講義			
2	海外の接客～発展～		課題	10	外国人に対するサービスの発展を学ぶ	講義			
3	海外の接客・サービスの発展①				海外におけるサービス業の知識を得る①	講義			
4	海外の接客・サービスの発展②				海外におけるサービス業の知識を得る②	講義			
5	海外の接客・サービスの発展③		筆記	25	海外におけるサービス業の知識を得る③	講義			
6	海外の接客・サービス業界の仕事①				海外での販売・サービスの発展を学ぶ①	実技			
7	海外の接客・サービス業界の仕事②				海外での販売・サービスの発展を学ぶ②	実技			
8	海外の接客・サービス業界の仕事③		課題	15	海外での販売・サービスの発展を学ぶ③	実技			
9	海外の接客・サービス業界の仕事④				実践的にサービスを行う①	実技			
10	海外の接客・サービス業界の仕事⑤				実践的にサービスを行う②	実技			
11	海外の接客・サービス業界の仕事⑥		筆記	25	海外からのお客様を接客する①	実技			
12	海外の接客・サービス業界の仕事⑦				海外からのお客様を接客する②	実技			
13	海外の接客・サービス業界の仕事⑧				海外からのお客様を接客する③	実技			
14	海外の接客・サービス業界の仕事⑨		筆記	25	海外からのお客様を接客する④	実技			
15	接客・サービス業界の仕事まとめ				海外の観光業界の知識・技術の発展のまとめ	講義			
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			Business Manners			講師名		
担当講師の実務経験		○	実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要なビジネスマナーを理解し身に着ける。 ・ビジネスシーンにおける、コミュニケーションの回り方、ビジネスメール、電話対応ができるようになる。 ・日本だけでなく、全世界共通となるマナープロトコールについて理解する。 					<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての基礎となるビジネスマナーを理解するため、テキストに基づき理解を深める。 ・ロールプレイングを行い実際の職場での臨機応変な電話対応を学ぶ。 ・マナープロトコールに基づき、検定対策問題を通して世界共通のルールを理解しマナープロトコール検定3級取得を目指す。 			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	キャリア、働くとは、				キャリアを知り、働く意識を考える 仕事の基本となる8つの意識を身につける			
2	話し方、聞き方、敬語				敬語、話し方、聞き方のポイントを理解し、学生ことばを卒業する			
3	来客対応、訪問、対外交際		課題	10	来客対応と訪問の基本マナーを身につける、会社関係での付き合いを知る			
4	仕事への取り組み方		課題	10	仕事への取り組み方について理解する			
5	ビジネス文書・メール		課題	10	ビジネス文書の基本を身につける、メールの機能を理解し、文章作成が出来る			
6	電話対応①				基本的な電話対応が出来るようになる			
7	電話対応②				電話対応の応用が出来るようになる			
8	マナープロトコールについて		筆記	20	マナープロトコールについて理解する			
9	国際人としてのプロトコール				国際人としてのマナーを理解する			
10	食事のマナー		課題	10	食事におけるマナーを理解する			
11	【冠】のしきたり		課題	10	冠の内容や、ルールについて理解する			
12	【婚】のしきたり				婚姻にまつわる内容やルールについて理解する			
13	【葬】のしきたり		課題	10	葬式にまつわる内容やルールについて理解する			
14	検定対策		筆記	20	マナープロコール検定対策			
15	検定振り返り				検定の振り返り			
追試詳細					達成度評価	使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	マナープロトコールの基礎知識、マナープロトコール検定2級、3級問題集		

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			Business English			講師名			
担当講師の実務経験		○		実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
海外取引や海外赴任、外資系会社就職を想定し、英語を使用したビジネスシーンにおけるメール対応・ビジネスレターの読み書きができるようになるためのリーディング・ライティング力を習得する。					ネイティブ講師の指導の下、英語で仕事ができるようになるようリーディング・ライティング力を鍛える。 毎授業で英語のメール作成を実践する。				
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標			授業形式
1	オリエンテーション ビジネス英語の読み書きについて					授業の概要・説明			講義
2	メールの作成（1）					件名・挨拶・自己紹介の作成			講義
3	メールの作成（2）			小テスト	15	依頼・提案・謝罪・締めくくり			実技
4	メールの返信（1）					メールを作成し、送信する 返信の方法、引用・質問をする			講義
5	メールの返信（2）			小テスト	15	追加の情報を求める・お礼			講義
6	ドキュメントの作成（1）					メールに返信する 資料請求・問い合わせ			講義
7	ドキュメントの作成（2）			小テスト	15	報告書の作成			講義
8	文書から情報を読み取る（1）					ドキュメントを実際に作成する メールから情報を読み取る			実技
9	文書から情報を読み取る（2）			小テスト	15	長文の書類から必要な情報を読み取る			講義
10	新聞から情報を得る（1）					文書読み取りテスト ビジネス記事の理解ができる			実技
11	新聞から情報を得る（2）			小テスト	15	ビジネス記事の理解ができる			講義
12	Webサイトから情報を得る（1）					新聞記事の読み取りテスト 会社の情報や数字を得る			実技
13	Webサイトから情報を得る（2）					会社の情報や数字を得る			講義
14	リーディングテスト			筆記	25	文書の作成・読み取り確認テスト			実技
15	総まとめ・Feed back					後期のまとめ			講義
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス				
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修		
科目名			English Guide Project			講師名				
担当講師の実務経験			○	実務 経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
<ul style="list-style-type: none"> ・日本の文化習慣を理解し、外国のゲストに紹介説明できる力をつける。 ・外国人をもてなすプランを企画・実践する力をつける。 ・魅力ある企画を効果的にプレゼンテーションできる力をつける。 					<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化を中心に学び、正しく理解するとともに、日本の文化習慣を英語で伝えられるようにしていく。 ・情報を収集し、創造力を持ってプランを企画していく。 ・外国人向けのtripを実施するなかで、英語で基礎的なガイドができるようにする。 					
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標			授業形式			
		形式	点数							
1	オリエンテーション			シラバス及びツアー（実技）の説明			講義			
2	ツアープランのプレゼン準備①			日本を知る			講義			
3	ツアープランのプレゼン準備②	小テ	10	奈良を知る			講義			
4	ツアープランのプレゼン準備③	小テ	10	京都を知る			講義			
5	ツアープランのプレゼン準備④	課題・小テ	10・10	ツアーのプランニング1			講義			
6	ツアープランのプレゼンテーション	課題	10	ツアーのプランニング2			講義			
7	ツアーガイドのための知識と準備1			パワーポイント作成(英語) 発表(英語)の準備			実技			
8	ツアーガイドのための知識と準備2			パワーポイント作成(英語) 発表(英語)の準備			実技			
9	プレゼンテーション発表(英語)	実技	20	発表(英語)			実技			
10	ツアーガイドのための知識と準備(1)			実際のガイディングのための準備			講義			
11	ツアーガイドのための知識と準備(2)			実際のガイディングのための準備			講義			
12	ツアーガイドのための知識と準備(3)			実際のガイディングのための準備			講義			
13	ツアー直前チェック			実際のガイディングのための準備			講義			
14	ガイド体験一日ツアー	実技	30	注：フィールドワーク			実技			
15	学習のまとめ			ツアーの振り返り			講義			
追試詳細				達成度評価			使用教材			
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			配布資料			

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			Expression Training			講師名			
担当講師の 実務経験		○		実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<p>人前に立ち自分の言葉で自分の想いを伝えることにより、国際人に必要不可欠な表現力・コミュニケーション力・自己発信力・自信を手に入れ、人を喜ばせることの楽しさや難しさを知る。 英語での表現力を習得する。</p>					<p>シアタートレーニングやグループディスカッションを中心に演劇作品づくりを進める。 期末にはインターナショナルスクール（幼稚園）での英語劇発表を行う。 対面授業の場合はスーツやスカート、ヒールなど動きが制限される服装での出席は認めません。必ず動きやすい服装で参加すること。</p>				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標			授業形式	
			形式	点数					
1	オリエンテーション				国際人として必要な力を再度考え、確認し、授業内容と達成目標を理解する			講義	
2	インターナショナルスクールについて知る				インターナショナルスクールの子供たちについて学び、ニーズを考える			講義	
3	グループ分け・配役 劇中で使用する仮面や舞台装飾の制作				グループで想像し必要な物を完成させる			実技	
4	制作した物の発表・英語台本づくり		実技	15	自分の作品を自信を持って見せる 積極的にアイデアを発表する 英語表現の習得			実技	
5	作品創り①		実技	10	成果発表に向けての作品づくりを進める 大きく動きながらセリフを言う			実技	
6	作品創り②		実技	10	成果発表に向けての作品づくりを進める 自分の気持ちをどう表現するか工夫す			実技	
7	作品創り③		実技	10	成果発表に向けての作品づくりを進める 自分の声をしっかりと聞く			実技	
8	作品創り④		実技	15	成果発表に向けての作品づくりを進める セリフの録音			実技	
9	作品創り⑤				成果発表に向けての作品づくりを進める 録音した自分の声に合わせて動けるよ			実技	
10	作品創り⑥				成果発表に向けての作品づくりを進める 作品に足りないものがないか確認をす			実技	
11	作品創り⑦				成果発表に向けての作品づくりを進める リハーサルに向けての最終調整			実技	
12	リハーサル		実技	20	これまで進めてきた成果を最終確認する			実技	
13	本番		実技	20	インターナショナルスクールで発表。 観ていただく方のために全力を尽くす			実技	
14	総まとめ				フィードバック・まとめ			講義	
15	全体振り返り・卒業後に向けて				これまでの自分の成長を振り返り、就職後の目標を設定する			講義	
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			IT Skills			講師名		
担当講師の実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスシーンで最も活用されているOfficeソフトの操作スキルを証明するMOS (Microsoft Office Specialist) のExcelを取得を目指す ・excel環境の管理、セルデータの作成、視覚的なデータの表示等、excelを使用する際に活用出来る機能を理解し習得する 					<ul style="list-style-type: none"> ・実際にExcelを使用しながら、それぞれのコンテンツの使用法、活用方法を習得する。 ・基礎編から応用編まで小テスト形式で確認を行いMOS習得に向けた検定対策として過去問題にもチャレンジしていく。 			
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標		授業形式
				形式	点数			
1	新規ブック作成					excelの新規ブック作成方法を学ぶ		
2	データ入力			課題	10	excelでのスムーズなデータ入力方法を習得する		
3	書式設定①			課題	10	基礎的な書式の設定方法を習得する		
4	書式設定②			課題	10	条件付き書式の設定方法を習得する		
5	関数の基本			課題	10	関数の基本を復習、確認を行う		
6	関数の応用			課題	10	応用的な関数の利用が出来る		
7	絶対参照と相対参照			課題	10	絶対参照と相対参照を理解する		
8	コメント機能			課題	10	コメント機能の活用方法を習得する		
9	グラフ作成①			課題	10	基礎的なグラフの作成が出来る		
10	グラフ作成②					複合グラフの作成と編集の習得		
11	グラフィック作成					Smart Artや図形によるグラフィックの作成が出来るようになる		
12	ピボットテーブルとグラフ					ピボットテーブルとグラフの作成・活用方法を習得する		
13	マクロの基本					マクロの基本を理解する		
14	検定対策①			実技	20	検定直前対策		
15	検定対策②					検定直前対策		
追試詳細						達成度評価		使用教材
課題→授業内作成課題、母数減らし						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			Japanese Culture			講師名			
担当講師の実務経歴		○	実務経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
様々な日本の文化や社会的規範を海外の人々に英語で説明ができるようになる。					自分の文化を英語で他人に説明することは難しいことである。 この授業では、日本の文化についてディスカッションやディベートをしながら簡単なプレゼンテーションにて発表をしていく。				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標			授業形式	
			形式	点数					
1	オリエンテーション・紹介				自己紹介、イントロダクション			講義	
2	パーソナルスペース				「パーソナルスペース」について話し合い			講義	
3	日本の食事文化				日本の「会食」などについて話し合い			講義	
4	実技試験 1		実技	25	レビューと実技試験 1			実技	
5	集団主義				「集団」と「個人」の文化について話し合い			講義	
6	公共の場でのマスク着用				日本での「マスク」文化について話し合い			講義	
7	実技試験 2		実技	25	レビューと実技試験 2			実技	
8	若者文化				日本における「若者文化」について話し合い			講義	
9	漫画やアニメについて				「漫画やアニメの人気の理由」について話し合い			講義	
10	実技試験 3		実技	25	レビューと実技試験 3			実技	
11	日本の教育について				教育のスピードや習い方について話し合い			講義	
12	塾文化				日本での「塾文化」について話し合い			講義	
13	実技試験 4		実技	25	レビューと実技試験 4			実技	
14	自分の考えをまとめる				「日本人とは」を話し合い			講義	
15	総まとめ				グループアクティビティ			講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			Social Media Planning			講師名			
担当講師の実務経歴		○		実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
SNSを利用したマーケティングを利用し観光業界のアピール方法を3科合同で学び英語・中国語・韓国語で観光動画を制作する					商品のイメージが湧き立つ動画撮影技術と編集技術を学び、販売に結び付くツールを作成できるようになる。				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
			形式	点数					
1	ソーシャルメディアとSNS撮影基礎と企画				SMMとSNSの基本知識	講義			
2	ソーシャルメディアとSNS撮影基礎と企画				活用する動画の企画・撮影・編集について学ぶ	講義			
3	スマホでカッコイイ動画撮影		課題	10	スマホの設定、撮影アングル、トランジションについて学ぶ	講義			
4	編集基礎		課題	15	撮影した動画をスマホアプリで編集飽きない動画作品の知識を学びます	講義			
5	ドローン操作・ジンバルについて				ドローンについて基礎知識、ジンバルの役割の理解	講義			
6	ドローン操作・ジンバルについて		課題	15	ドローン操作方法について理解	実技			
7	ドローン演習フィールドワーク		実技	20	野外でのドローン飛行演習（2コマ）	講義			
8	振替休講				フィールドワークの振替休講	講義			
9	課題発表				大阪観光PR動画制作	講義			
10	グループワーク				PR動画撮影地決定	講義			
11	グループワーク				PR動画制作	実技			
12	グループワーク				PR動画制作	実技			
13	本番		実技	30	撮影	実技			
14	編集		実技	10	撮影した動画を編集する	講義			
15	まとめ				撮影動画鑑賞会	講義			
追試詳細					達成度評価		使用教材		
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料 プリント配布		

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			Tour Project			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<p>物事を深く調べる力、プレゼンを通して人に伝える力と必要な英語表現を習得する。 学内で発表の場を設け、最優秀チームを決定する。 また、チームでプロジェクトを進める大切さを知り、コミュニケーション力向上させる。</p>					<p>日本人に馴染みの少ない世界の観光地にスポットを当て、その土地の魅力を発表する。 海外における観光業の基礎知識やツアーの面白さを学び、世界の知られざる観光地の調査する。 人を惹きつけるツアーを考え、英語でのプレゼンテーションを実施する。</p>				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標			授業形式	
			形式	点数					
1	オリエンテーション チームビルディングゲーム				ソラハス・授業内容説明 「世界サマーリゾート」を鑑賞 チームビルディングゲーム			講義	
2	リゾート研究① 欧米		課題	10	観光業界について知識を得る 世界各地のリゾートを調べる			講義	
3	リゾート研究② アジア		課題	10	観光業界について知識を得る 世界各地のリゾートを調べる			講義	
4	リゾート研究③ ヨーロッパ		課題	10	観光業界について知識を得る 世界各地のリゾートを調べる			講義	
5	オンラインツアー参加		課題	20	オンラインツアーに参加し、観光地の魅力を知る			講義	
6	観光地研究①				日本人になじみの少ない観光地をチームごとに調べる（現地の人口、人種、特産物、ホテルなど）			講義	
7	観光地研究②				観光ルート、旅程を作成			講義	
8	中間発表		実技	20	日本語で現地レポートのプレゼン フィードバック			実技	
9	観光地研究③ 英語での表現				発表内容英訳			講義	
10	観光地研究④ 英語での表現				発表内容英訳 チームごとに発表内容の練習			講義	
11	観光地研究⑤ 英語での表現				発表内容英訳 チームごとに発表内容の練習			講義	
12	観光地研究⑥ 英語での表現				発表内容英訳 チームごとに発表内容の練習			講義	
13	リハーサル				チームごとに英語で発表（動画撮影） 最終修正			実技	
14	学内コンテスト		実技	30	チームごとに英語でプレゼンを行い 優秀賞を決定			実技	
15	総まとめ				フィードバック			講義	
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			World Geography			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
世界の国々について、その土地の文化や人々の生活についてを英語で学び、理解を深める。					リーディング、リスニング、ライティング、スピーキング、ディスカッションの5技能に磨きをかけ、文化や生活の違いについて議論する。				
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標			授業形式		
		形式	点数						
1	イントロダクション			授業の内容説明 世界の国々について			講義		
2	Unit 1 カナダ	単語		ユニットの演習・アクティビティ			講義		
3	Unit 2 タイ	単語		ユニットの演習・アクティビティ			講義		
4	Unit 3 ドイツ	単語		ユニットの演習・アクティビティ			講義		
5	Unit 4 トルコ	単語		ユニットの演習・アクティビティ			講義		
6	Unit 5 ロシア	単語		ユニットの演習・アクティビティ			講義		
7	中間テスト	筆記	10	Unit 1-5の振り返り・中間テスト			講義		
8	授業内プレゼンテーション	実技	15	講師が選んだテーマについてプレゼン			実技		
9	Unit 6 イスラエル	単語		ユニットの演習・アクティビティ			講義		
10	Unit 7 南アフリカ	単語		ユニットの演習・アクティビティ			講義		
11	Unit 8 アメリカ	単語		ユニットの演習・アクティビティ			講義		
12	Unit 9 フランス	単語		ユニットの演習・アクティビティ			講義		
13	Unit 10 バングラデシュ	単語		ユニットの演習・アクティビティ			講義		
14	期末テスト	筆記	15	振り返り・期末テスト			講義		
15	フィードバック・まとめ			授業のまとめ			講義		
追試詳細				達成度評価			使用教材		
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			【GUESS WHAT? - Intercultural Surprises-】		

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			イベントプランニング			講師名			
担当講師の実務経験			○	実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
外国語学科3科合同でイベントを自分達自身で創り上げていく授業。					授業形態：講義				
					様々な国際交流や文化体験を取り入れたイベント創りをする				
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式	
1	オリエンテーション・授業の進め方			課題	10	授業内容について、チーム決め		講義	
2	課題①アメリカの文化					ハロウィンについて		講義	
3	グループワーク					英語科生を中心にハロウィンの準備		実技	
4	グループワーク			課題	10	英語科生を中心にハロウィンの準備		実技	
5	課題発表			実技	20	ハロウィンパーティ実施		実技	
6	課題②韓国の文化					韓国料理について		講義	
7	グループワーク					韓国語科生を中心に料理パフォーマンスの準備		実技	
8	グループワーク					韓国語科生を中心に料理パフォーマンスの準備		実技	
9	レストラン準備			課題	10	韓国レストラン準備		実技	
10	課題発表			実技	20	韓国レストラン本番（2コマ分）		実技	
11	振替休講					韓国レストランの振替休講		実技	
12	課題②台湾の文化					旧正月について		講義	
13	グループワーク					中国語科生を中心に旧正月イベントの準備		実技	
14	グループワーク			課題	10	中国語科生を中心に旧正月イベントの準備		実技	
15	課題発表			実技	20	旧正月イベント実施		実技	
追試詳細					達成度評価		使用教材		
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定 必要物を購入する時は、必ず担当教員の許可を得てからにすること。またレシートの裏にクラスと名前を記載すること。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料 プリント配布		

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			サービス演習 発展Ⅲ			講師名			
担当講師の 実務経験		○	実務 経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<p>接客・サービス業界への就職を目指し、多種多様なお客様への接客方法を学ぶ。</p> <p>1年間学んできたことを取り入れたロールプレイを考え、実践することで、各自の接客スタイルを確立する。</p>					<p>座学、実技、グループワークを取り入れながら、知識、技術、対応力を磨く。</p>				
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標			授業形式
				形式	点数				
1	オリエンテーション								講義
2	多種多様なお客様への接客①					高齢者への接客を知る 高齢者体験			講義
3	多種多様なお客様への接客②					様々な障害について理解する			実技
4	多種多様なお客様への接客③					視力障害者への対応を知り、 実際に体験する			実技
5	多種多様なお客様への接客④					聴力障害者、まひがあるお客様などへの 対応を知る			実技
6	多種多様なお客様への接客⑤					車いす利用者への対応を知る。			実技
7	多種多様なお客様への接客⑥					車いす利用者への対応実践			講義
8	多種多様なお客様への接客⑥					障害者への対応を考える			講義
9	接客ケーススタディ①					様々な場면을想定しながら臨機応変な 対応ができるように考える			実技
10	接客ケーススタディ②					様々な場면을想定しながら臨機応変な 対応ができるように考える			講義
11	接客ロールプレイ①					今まで学習してきたことを取り入れ て、接客場面のロールプレイを考え る。			講義
12	接客ロールプレイ②					ロールプレイ練習①			講義
13	接客ロールプレイ③					ロールプレイ練習②			講義
14	接客ロールプレイ④					ロールプレイ発表			実技
15	総まとめ								講義
追試詳細						達成度評価		使用教材	
						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス			
総時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			サービス演習 発展Ⅳ			講師名			
担当講師の実務経験		○	実務 経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
2年間の集大成として習得した技術を活かし、実際に海外からのお客さまをお迎えして接客・サービスをする。					業界出身のプロから実践的な技術を英語で学ぶ。即戦力となるように実際の現場を再現しながら実技を重点的に学ぶ。				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
			形式	点数					
1	オリエンテーション・振り返り					講義			
2	海外のお客さまをお迎えする		課題	10	海外からのお客さまを理解する	講義			
3	海外の接客・サービスの実践①				海外の観光業界の現状を知る	講義			
4	海外の接客・サービスの実践②				海外でのお客さま対応の工夫を身につける	講義			
5	海外の接客・サービスの実践③		筆記	25	「外国人」の理解をし、実践へつなげる	講義			
6	海外の接客・サービス業界の仕事①				実践的に英語で接客を行う①	実技			
7	海外の接客・サービス業界の仕事②				実践的に英語で接客を行う②	実技			
8	海外の接客・サービス業界の仕事③		課題	15	実践的に英語で接客を行う③	実技			
9	海外の接客・サービス業界の仕事④				実践的に英語で接客を行う④	実技			
10	海外の接客・サービス業界の仕事⑤				実践的に英語で接客を行う⑤	実技			
11	海外の接客・サービス業界の仕事⑥		筆記	25	海外のお客さまへの対応～謝罪～	実技			
12	海外の接客・サービス業界の仕事⑦				海外のお客さまへの対応～クレーム～	実技			
13	海外の接客・サービス業界の仕事⑧				海外のお客さまへの対応～ビジネス～	実技			
14	海外の接客・サービス業界の仕事⑨		筆記	25	海外のお客さまへの対応～交渉～	実技			
15	接客・サービス業界の仕事まとめ				海外の観光業界の知識・技術の実践のまとめ	講義			
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			ゼミナール			講師名			
担当講師の実務経歴		○		実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
①観光の目的となるマーケットについて知識を習得する ②幅広い客層の様々な目的に対応できる広い分野の教養を身に付ける					各分野のプロ、詳しい先生をスポットで招き、人気のテーマ・ディスティネーション・対象客層、専門用語の解説を学ぶ。 各テーマの企画や手配上の注意、各客層の対応方法などを学ぶ。				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標		授業形式		
			形式	点数					
1	ブライダル業界を知る①		課題	5	ブライダル業界の仕事とは		講義		
2	ブライダル業界を知る②		課題	5	結婚式のマナー		講義		
3	お酒の種類と楽しみ方①		課題	5	世界の洋酒、日本酒について学ぶ		講義		
4	お酒の種類と楽しみ方②		課題	5	世界の人気カクテって何？		講義		
5	写真の世界①		課題	5	カメラについての基礎知識（カメラ持参）		講義		
6	写真の世界②		課題	5	写真撮影大会（FW）		実技		
7	登山とトレッキング		課題	10	登山の魅力		講義		
8	ホテル研究		課題	10	世界各国の有名ホテルについて学ぶ		講義		
9	イスラム教を知る		課題	10	イスラム教の知識を学ぶ		講義		
10	クルーズの世界		課題	10	クルーズ旅行の魅力		講義		
11	カジノ①		課題	5	基礎知識、ブラックジャック		実技		
12	カジノ②		課題	5	ルーレット		実技		
13	世界の食体験		課題	10	世界のカップ麺について		講義		
14	仏像の楽しみ方		課題	10	仏像の魅力を知り、歴史や知識を学ぶ		講義		
15	まとめ				後期の総まとめ		講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材		
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定 各講義のレポートを授業に提出すること					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料 プリント配布		

授業計画書

学部	昼	学科 科	英語科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			卒業制作			講師名			
担当講師の実務経験		○		実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<p>①『感謝・人のためにプロジェクト』 自己の成長には周囲の方の支えが必要不可欠だということを知り、改めて感謝の意を表すことの重要性を知る。また、業界人としてのホスピタリティマインドを養う。</p> <p>②『語学で世界の架け橋になる』 2年間で習得した、つながり・コミュニケーション能</p>					<p>①「感謝」→「誰かのために」という行動を起こすことで人間力を高めることを目的とする。</p> <p>②自らの経験を活かし、米国と日本を結び社会貢献行動を実践する。</p>				
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式				
		形式	点数						
1	オリエンテーション			授業のねらいを把握	講義				
2	「感謝」・「人のために」プロジェクト①			お世話になった方への「感謝」を伝えるためのブレインストーミング	講義				
3	「感謝」・「人のために」プロジェクト②	課題	10	アイデアを絞る・計画する	講義				
4	「感謝」・「人のために」プロジェクト③			実行にうつすための方法を検討する	講義				
5	「感謝」・「人のために」プロジェクト④リハーサル	課題	10	実行に向けたリハーサルをとり行う	講義				
6	「感謝」・「人のために」発表	実技	15	お世話になった方への「感謝」を伝える	実技				
7	『語学で世界の架け橋になる』① 自分たちの能力を見つめる			過去の経験を振り返り、自分たちの能力を見える化する	講義				
8	『語学で世界の架け橋になる』② 社会貢献とは①	課題	10	社会貢献について学び、理解を深める	講義				
9	『語学で世界の架け橋になる』③ 社会貢献とは②			社会貢献について学び、理解を深め、実践するアイデアを練る	講義				
10	『語学で世界の架け橋になる』④ 能力+社会貢献=①	課題	10	能力・社会貢献を掛け合わせ、自分たちがやりたいことをブレインストーミングする	講義				
11	『語学で世界の架け橋になる』⑤ 能力+社会貢献=②			能力・社会貢献を掛け合わせ、自分たちがやりたいことをブレインストーミングリサーチ	講義				
12	『語学で世界の架け橋になる』⑥ 能力+社会貢献=③	課題	10	発表内容を取りまとめる	講義				
13	『語学で世界の架け橋になる』⑦ リハーサル			発表に向けてリハーサルをとり行う	講義				
14	『語学で世界の架け橋になる』発表	実技	15		実技				
15	総復習 フィードバック	課題	15	総復習	講義				
追試詳細					達成度評価		使用教材		
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		配布資料		